

# 第 135 回長野県市長会総会 会議録

平成 26 年 8 月 21 日（木）

午後 1 時 30 分～4 時 15 分

千曲市観光会館 大会議室（2 階）

## 1 開 会

（小林千曲市総務部長）

本日は、大変お忙しい中、千曲市にお越しいただきまして誠にありがとうございます。

私は、千曲市総務部長の小林好武でございます。しばらくの間、進行役を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

それでは、開会のことばを、千曲市副市長、山本高明から申し上げます。

（山本千曲市副市長）

本日は、ご来賓の皆様並びに各市長の皆様におかれましては、大変お忙しいところ、遠路、千曲市までお越しいただきまして、誠にありがとうございます。

ただいまから、第 135 回長野県市長会総会を開会いたします。

## 2 会長あいさつ

（小林千曲市総務部長）

はじめに、長野県市長会会長であります、松本市長、菅谷昭様、ごあいさつをお願いいたします。

（菅谷会長）

本日は、第 135 回長野県市長会総会を開催いたしましたところ、ご来賓として和田長野県副知事様、和田千曲市議会議長様、池田市町村課長様をはじめ、市町村課の職員の皆様には、公務ご多忙の中ご臨席を賜り、心より感謝申し上げます。また、19 市の市長各位におかれましては、9 月定例市議会を間近に控える中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、去る 8 月 10 日に投開票が行われました長野県知事選挙におきましては、阿部知事さんが再選を果たされました。阿部知事さんは、本日、他の公務のため総会にはご出席いただけませんでしたが、意見交換会にはお越しいただけるということとなっておりますので、後ほど改めてお祝いを申し上げたいと存じますが、長野県の発展と県民の幸せのため、住民に最も近い私ども市町村の声を十分お聞きいただき、一層の信頼関係を築き、相互理解を深めた上で県政を進めていただくよう、お願いしたいと存じます。

その意味で、入札の不調によりオープンが遅れておりました、信州首都圏総合活動拠点

「銀座NAGANO」につきましては、再入札の結果、落札され、業者とも正式契約を締結の上、オープン日も10月26日の日曜日でございますが、決まった旨の発表が先日県からございました。私ども市長会としまして、この活動拠点につきましては、市単独で、あるいは広域として活用しようとこれまで準備をしてきただけに、入札の不調による開所の遅れには大変残念な思いをしたところでございます。今後は、この遅れを取り戻し、市町村にとって活用しやすく、当初の効果が期待できる運営に万全のご配慮をいただきますよう、この場をお借りしてお願いしておきたいと思っております。

また、6月22日に告示されました大町市長選挙におきまして、無投票で3選を果たされました牛越大町市長さん、ご当選、誠におめでとうございます。今後とも、市民が愛着と誇りを、そして未来に夢を持って、安心して生活できる街づくりのために共に頑張りたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。足の方も早く回復するように願っております。

本日の総会でございますが、各市からの提出議題8件、副市長・総務担当部長会議からの提出議題13件、事務局提出議題をご審議いただくとともに、県から施策説明をいただくこととなっております。本日の総会においてご審議いただいた各市からの提出議題につきましては、県に関わるものにつきましては、10月14日に予定しております知事及び県議会議長等への要望・陳情活動、そして国に関わるものにつきましては、10月16・17日に新潟県新発田市で開催いたします北信越市長会等へ、提出・要望していくこととなりますので、よろしく願いいたします。

最後になりましたが、本日を迎えるに当たり、準備・設営にご尽力賜りました岡田千曲市長さんをはじめ、職員の皆様方に、心より感謝を申し上げます。市長各位のご熱心な議論により、本総会が意義深い会になることをお願い申し上げまして、あいさついたします。どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。

### 3 開催市長あいさつ

(小林千曲市総務部長)

ありがとうございました。

続きまして、開催市であります千曲市長、岡田昭雄からごあいさつを申し上げます。

(岡田千曲市長)

皆さん、改めましてこんにちは。

(一同)

こんにちは。

(岡田千曲市長)

第 135 回長野県市長会総会を千曲市において開催いたしましたところ、皆様には全員ご参加いただきまして、誠にありがとうございます。心からご歓迎を申し上げる次第であります。また、ご来賓として、和田副知事様をはじめ、県の職員の皆様方にもご参加を賜りまして、厚くお礼を申し上げる次第であります。

さて、私たち地方自治体を取り巻く情勢はさまざまで、人口減少問題、地方再生など、大きな課題があるわけですが、来年からは教育委員会制度の改正、あるいはいくつかの制度改正もあるようでありまして、地方自治体にとっては目の離せない時代を迎えているのではないかと考えております。そのような中で、今、私ども千曲市としても、特に子育て支援策の推進、あるいは市民の健康寿命の延伸対策、このようなものに重点的に取り組んでいるところでありまして、26 年度、27 年度は、もっとその辺のところの対策をしていかなければいけないかと思っているところです。

千曲市を少し紹介させていただきたいと存じます。千曲市は、ご承知のとおり、平成の大合併で県内初の合併をいたしまして、11 年目を迎えました。合併特例債の 5 年間延長もありまして、本年を含めて今後 5 年間は合併の総仕上げということで、3・11 の大震災もあったものですから、耐震化の必要な学校、あるいは体育館、市の庁舎などの建て替えも目白押しで、この 5 年間に集中していくということになります。

ご承知のように、千曲市は市の中央部を幅 500m の千曲川が貫流しておりまして、川の西側の地域が旧更級郡、東側地域が旧埴科郡であります。そのような中で、今、川西の旧更級郡の中で、稲荷山地区には江戸後期から明治にかけての蔵が 250 ほどありまして、この蔵は、文化庁より「重要伝統的建造物群保存整備事業」として、今年度中に指定を受ける予定です。

もう一つは、姨捨の 1,800 枚に上る棚田があります。この棚田はすごい面積を持っておりまして、姨捨のスイッチバックの駅も含めて、棚田を生かした観光振興を今盛んに進めているわけでありまして、JR の姨捨駅も含めて、一帯を世界農業遺産にしていこうということで、農林水産省との研究会も進めているところで、世界から注目される、更級地域全体をそのような観光地にしていきたいと、この温泉街も含めて、進めているところであります。そして、更級という名前は非常にいい名前ですから、千曲市の中でもブランド化を図っていききたいと思っております。

もう一方、千曲川の東側の旧埴科郡の地域ですが、ここには、ご承知のように、高速道路が 2 本、18 号バイパス、篠ノ井線、しなの鉄道、さまざまな交通網、まさに空港や港を除いて、すべての交通網がほぼ 1 カ所に集中している地域であります。千曲市では、このような交通の結節を生かして、千曲市はもとより、長野県全体の発展を見据えながら、北陸新幹線の新駅を誘致するべく、20 年間の運動を展開してまいりました。おかげさまで昨年 3 月、県の新総合交通ビジョンに、新駅の検討について明記されたところであります。

多くの県議会議員、そして県選出国會議員全員の先生方をはじめ、県内の経済界の皆様にも期成同盟会にご加入いただきまして、これから本格的に誘致運動を展開してまいり

いと考えているところであります。また、7月の県市議会議長会でも誘致の決議をいただいております。運動の成果も、少しずつではありますが、上がってきているのではないかと思います。新駅が実現しますと、高速道路と新幹線が一体となった、まさに全国に類のない複数の交通網が連結する、マルチモデルと言われているような、パーク&ライドの駅ができると思っております。県内の主要観光地を2時間以内で結ぶことができる、いわゆる観光県長野県の発展にも大きく寄与すると考えているところであります。

このように千曲市は、東西のそれぞれ異なった交通、そして歴史文化という異なった地域が、それぞれが整合し、地域が連携することで、千曲市ならではのオンリーワンの都市を私どもは目指していきたいと考えております。今後もそのような施策を積極的に進めてまいりたいと思っております。

さまざま申し上げたところでありますけれども、これからはやはり、ますます広域化、あるいはグローバル化する時代を迎えておりますので、県下19市をはじめ、県下の77市町村がいかに連携をしていくか、このことが長野県全体の発展に大きく寄与するのではないかと考えているところであります。

本日の総会では、さまざまな議題がありますけれども、十分ご審議をいただきまして、有意義な総会となりますよう、開催市といたしましても精一杯務めさせていただきたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします

#### 4 当選市長紹介

(小林千曲市総務部長)

続きまして、6月3日開催の定例会以降に当選されました市長さんをご紹介申し上げます。去る6月22日に告示されました大町市長選挙において、みごと3選を果たされました牛越徹様でございます。

恐れ入りますが、その場で一言ごあいさつをいただきたいと存じます。

(牛越大町市長)

改めまして、牛越でございます。このたびの選挙におきまして市民の皆様のご支持をいただき、3期目のスタートをすることができました。

まず、私ども大町市政の課題というのは、ご多分にもれず、少子高齢化、あるいは人口減少に直面しております。そうした中で、特に人口減少対策としましては、子育て支援策をなお一層充実・強化することと、Uターン、あるいはIターンとして移住を促進する、そのような大きな課題に取り組んでまいりたいと存じます。

加えまして、市民参加と市民協働の下で、文化や芸術、あるいはスポーツを軸とした市政を発展させる。そのような新しい基軸を設けて取り組みたいと存じます。引き続き、市長さん方のご支援・ご指導をお願い申し上げます。

また、さらに、先ほど菅谷会長さんからは、足を骨折いたしましたことに、激励をいた

できました。これはソフトボールのナイターの試合で、本気で二つ目の盗塁を試みたところ、セーフではあったのですが、グラウンドに足を取られまして骨折ということになりました。

ぬかるみに足を取られないように、今後自らを戒めながら進んでまいりたいと思いますので、引き続き、ご指導のほどお願い申し上げます。誠にありがとうございました。

## 5 来賓祝辞

(小林千曲市総務部長)

ありがとうございました。

続きまして、本総会のため、大変お忙しい中ご臨席を賜りましたご来賓の皆様から、ご祝辞を頂戴したいと存じます。

はじめに、長野県副知事、和田恭良様からご祝辞をいただきたいと存じます。和田様、よろしく願いいたします。

(和田長野県副知事)

皆さん、こんにちは。

(一同)

こんにちは。

(和田長野県副知事)

副知事の和田でございます。

先ほどお話がありました、阿部知事が所用のために、代わりまして私の方でごあいさつを申し上げさせていただきまして、夕方の方に知事が参りまして、皆様へのお礼なりごあいさつを申し上げたいと思います。よろしく願いします。

今日は、ここ千曲市において長野県市長会総会が盛大に開催されますことを、心からまずお祝い申し上げたいと思っております。市長会の皆さんには、平素からそれぞれの地域で、地域の振興、あるいは地域住民の福祉向上のために、日夜を問わずご尽力いただいておりますことを、この場をお借りして厚くお礼を申し上げたいと思います。心から敬意を表する次第でございます。

さて、地方行政にとりまして、今まさに力を入れて取り組まなければならないもの、この大きな課題の一つが、少子高齢化による人口減少社会への対応ではないかと思っております。先般、閣議決定をされました骨太の方針でございますけれども、その中でも、皆様ご承知のように、経済がこれから持続的・安定的な成長軌道に乗っていくためには、人口急減、あるいは超高齢化という流れを変えなければいけないということで、50年後に1億人程度の安定した人口構造を保持することを目指すという具体的な目標が、明示され

たわけでございます。東京への一極集中を抑制する、あるいは人口減少を克服するために、国としては総合的な施策の司令塔となる「まち・ひと・しごと創生本部」を、この9月に立ち上げる予定であると聞いておりまして、国を挙げて取り組んでいくということとしております。

人口減少社会という大変大きな流れの中で、日本経済を成長軌道に乗せるということは、そう易しいこと、容易なことではないと私は思いますけれども、県としてもこのような国の動きを的確に捉えながら、昨年度からスタートしました「しあわせ信州創造プラン」に掲げておりますプロジェクトを推進しまして、長野県の活力の維持をしっかりと図ってまいりたいと考えている次第です。

また、人口減少の下で、大変これから大事になることとして、地域を越えた人や情報の交流・連携、あるいは力の結集、このようなものがこれまでになく重要になると考えている次第です。そうした点からも、市町村の皆様との連携・協働には、県としても一層力を入れてまいりたいと考えておりますし、市長会の皆様と力を合わせて、今後の国の動きを見ながら、しっかり取り組んでまいりたいと考えている次第です。

先ほど、会長さんの方からお話ございましたように、首都圏の総合活動拠点では大変ご迷惑をおかけしましたけれども、10月26日にオープンの運びということでございます。市長会の皆様も、この拠点を積極的にご活用いただきまして、この拠点から各地域、そして長野県の素晴らしさを、首都圏のみならず、世界へ積極的に発信をしていただけますよう、お願いを申し上げたいと思っております。

簡単でございますけれども、結びに、本日の総会が実りある有意義なものとなりますとともに、皆様方のますますのご健勝と各市の一層のご発展を心からご祈念申し上げまして、私のごあいさつとさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

(小林千曲市総務部長)

ありがとうございました。

続きまして、開催市の議会を代表いたしまして、千曲市議会議長、和田重昭様からご祝辞をいただきたいと存じます。和田様、よろしくお願いいいたします。

(和田千曲市議会議長)

ただいまご紹介いただきました、千曲市議会議長の和田重昭でございます。平成26年度長野県市長会総会の開会に当たり、開催市の議会を代表いたしまして一言ごあいさつを申し上げます。

暦の上では秋とはいえ、厳しい残暑が続いておりますが、本日は長野県市長会が、「信濃の国の発祥地」と言われておりますここ千曲市において開催の運びとなりました。ご参集いただきました各市長様及び関係者の皆様、心より歓迎を申し上げます。また、和田副知事様におかれましては、公務ご多忙中にもかかわらずご臨席をいただきましたこと、あり

がとうございました。

さて、最近の日本を取り巻く情勢を見ますと、アベノミクス効果により一部に明るい兆しが見えるものの、経済状況は依然厳しさが続いております。県内でも大規模事業所やスーパーなどの閉鎖・閉店が相次ぎ、T P P問題や中国・韓国との関係、さらにはウクライナ、イラクなどの国際情勢も、長野県に深刻な影響を与えているところであります。

一方、リニア中央新幹線、北陸新幹線延伸、東京オリンピックなどの大きなプロジェクトも迫っており、各自治体におけるリーダーのかじ取りに、住民の期待が大いに高まっております。このような中、県下 19 市のトップが一堂に会し、当面する諸問題を研究することは極めて重要であり、皆様の活発な討議をご期待申し上げる次第であります。ここで、せっかくの機会でありますので、当市の紹介を若干させていただきますと思います。

当市の歴史は古く、4世紀の後半に作られたとされる全長約 100m の森將軍塚古墳は、信濃の国の初代大王の墓とされ、東日本最大級の前方後円墳としてその規模を誇っております。また、市の東部に位置するあんずの里は、「一目十万本」と言われ、春の花の季節には多くの観光客でにぎわいます。西部地区には棚田を中心とした名勝嫉捨「田毎の月」がわが国で初めて重要文化的景観の選定を受けており、最近では善光寺平を一望する夜景も人気を集めております。

そして、本日、皆様方にお越しいただきました戸倉上山田温泉は、開湯 100 年を超える信州有数のいで湯であります。肌をきれいにする「美人の湯」として評判でありますので、今夜はぜひゆっくりおくつろぎいただき、心身を癒していただければ幸いです。

結びに、この市長会が実り多いことをご祈念申し上げ、簡単ではございますが、お祝いと歓迎のあいさつとさせていただきます。本日は千曲市にお足を運んでいただきまして、誠にありがとうございました。

## 6 来賓紹介

(小林千曲市総務部長)

ありがとうございました。

続きまして、本日ご臨席を賜りました、ご来賓の皆様をご紹介させていただきます。長野県企画振興部市町村課長、池田秀幸様。

(池田県市町村課長)

池田でございます。よろしくお願ひいたします。

(小林千曲市総務部長)

同じく市町村課課長補佐兼行政係長、山田明子様。

(山田県市町村課課長補佐兼行政係長)

よろしく願いいたします。

(小林千曲市総務部長)

同じく市町村課行政係担当係長、松山順一様。

(松山県市町村課行政係担当係長)

よろしく願いいたします。

(小林千曲市総務部長)

同じく市町村課行政係主事、山浦翔様。

(山浦県市町村課行政係主事)

よろしく願いいたします。

(小林千曲市総務部長)

以上の皆様でございます。ここで、長野県副知事、和田恭良様と千曲市議会議長、和田重昭様におかれましては、他の公務のためこの場は退席されます。お忙しい中、誠にありがとうございました。

## 7 議長選出

(小林千曲市総務部長)

なお、本日の会議でございますが、会議録をホームページで公開する会議としております。事務局で作成した会議録を出席者等にご確認いただき、ホームページにアップさせていただきますと存じますので、ご承知おき願います。

続きまして、議長の選出でございますが、本会会則第 12 条の規定により、議長は開催市の市長が務めることになっておりますので、よろしく願いいたします。それでは、岡田千曲市長、議長席へお願いいたします。菅谷会長は、自席へご移動ください。

## 8 会 議

### (1) 会務報告

(岡田千曲市長)

それでは、ご苦勞さまでございます。会則の定めるところによりまして、議長を務めさせていただきますが、有意義な会議になりますよう、どうかご協力をお願いいたします。よろしく願います。

それでは、ただいまから会議に入ります。

はじめに、(1)の会務報告についてであります。市川市長会事務局長から説明願います。



(市川事務局長)

着座のまま失礼させていただきます。

資料1をお願いいたします。今年度の会務報告でございますが、4月1日から5月31日までにつきましては6月の定例会でご報告させていただきましたので、本日は6月1日から7月31日までにつきましては報告をさせていただきます。

まず、1ページの会議、定例会でございますが、ただいま申し上げました6月定例会を6月3日、18人の市長さんと1人の副市長さんにご出席いただき、東京都で開催いたしました。「在ブラジル長野県人会創立五十五周年記念式典について」以下、2件についてご協議をいただきました他、報告事項につきましては3件、そして総務省の内藤財政課長さんからご講演をいただいたところでございます。

一番下の3の「全国市長会」関係でございますが、6月3日の理事・評議員合同会議には、本会から母袋上田市長さん、牧野飯田市長さん、花岡東御市長さん、柳田佐久市長さん、宮澤安曇野市長さん、堀内駒ヶ根市副市長さんのご出席をいただいたところでございます。

2ページをお願いいたします。6月4日の全国市長会議では、永年勤続功労者として小口塩尻市長さんが表彰を受けられたところでございます。審議事項は4の「全国市長会会長の選任方式の見直しについて」他、記載のとおりでございます。

7月9日の理事・評議員合同会議には、母袋上田市長さん、牧野飯田市長さん、牛越大町市長さん、白鳥伊那市長さん、足立飯山市市長さん、柳田小諸市長さん、岡田千曲市長さんにご出席いただき、記載事項についての協議がなされました。

次に、4の「副市長・総務担当部長会議」でございますが、7月4日に上田市で開催され、各市提出議題14件につきまして審議が行われました。1件が県としての対応が可能ということから取り下げになりました他は、13件が本日の総会に送付されております。

続きまして、4ページでございますが、5の「監査」につきましては、7月29日、牛越監事さん、足立監事さんによる、平成25年度歳入歳出決算の監査が実施されました。

8の「会長等が出席した会議」でございますが、一番下の7月31日、市町村長等と国土交通省幹部との意見交換会につきましては、急な要請であったがために、建設部会所属の各市長さん方のご都合がつかなかったことから、花岡副会長さんにご出席をお願いいたしました。

次に5ページの中段、「要請・要望を行ったもの」でございますが、6月18日には、6月定例会でもご協議いただきました2016年のサミットの長野県内誘致につきまして、県内経済4団体及び町村会とともに、県知事等に要望を行いました。

また、北信越市長会関係では、6月23日に「東日本大震災及び原子力発電所事故に係る避難者支援に関する決議」以下、3件の決議につきまして、北信越市長会会長から関係省庁等への要望書を送付しました他、7月9日には「北陸新幹線の建設促進に関する決議」

につきまして、北陸新幹線関係都市連絡協議会との合同によりまして、国土交通省等に要望を行いました。2の「要請・要望を受けたもの」は記載の3件でございますが、それぞれ各市の方に送付させていただいたところでございます。

6ページの「関係団体の役員等の推薦または委嘱」でございます。経済部会長の農地中間管理事業評価委員会委員につきましては、後ほどご報告させていただきます。この件以外につきましては、これまで就任していただいた役職の任期切れに伴います再任等でございます。

次に7ページの下段、4の「北信越市長会事務局」関係につきましては、この5月から本県市長会事務局が北信越市長会事務局を担当することになりましたことから、項目を新たに起こしたものでありまして、内容は再掲となっておりますので省略させていただきます。

最後に、8ページの(2)「出席した会議」でございますが、本日協議を行いました全国市長会会長選任方式の見直しの関係で、副会長・支部長会議に牧野飯田市長さんに支部長の代理としてご出席いただいたところでございます。

会務報告は以上でございます。

(岡田千曲市長)

はい、ありがとうございました。ただいま説明がございましたが、会務報告につきましてご質問等がございましたらお願いをいたします。

(「なし。」との声あり)

(岡田千曲市長)

特に質問がないようでありますので、会務報告につきましてはご了承いただけたものといたします。

## (2) 議題審議

### I 各市提出議題

#### 議題1 長野県道路公社が管理する有料道路の早期無料化(無料時間帯の拡大)について

(岡田千曲市長)

次に(2)の議題審議に移ります。

各市から提出されております議題について、順次ご審議をお願いいたします。議題の本身については、「現行制度の改善又は拡充を求めるもの」が6議案、「新たな施策の要望又は提案を求めるもの」が1議案、「特に市町村への財政支援策等を求めるもの」が1議案の計8議案であります。各議案につきましては、審議に先立ち、職員に議題の要旨を朗読させますので、その後、提案市で補足説明が必要な場合には説明をいただき、続いて県のご意見等をお聞きした上で、質疑及び採決を行いたいと存じます。

また、ご意見・ご質問のある方は、挙手をお願いいたします。発言される方は、こちらから指名をいたしますので、指名の後ご発言をお願いします。なお、発言は時間の関係もありますので、簡潔をお願いいたしたいと存じます。皆様の議事進行へのご配慮・ご協力をよろしくお願いいたします。

それでは最初に、現行制度の改善を求めるものとして、「議題1 長野県道路公社が管理する有料道路の早期無料化について」を議題といたします。

議題の要旨の朗読をお願いします。

(石井千曲市秘書広報課主任主事)

県道路公社が管理している有料道路は、観光地間を結ぶ極めて重要な路線であり、本県が目指す観光振興面、更には地域経済への効果を考慮すると、早期無料化または、無料時間帯の拡大を望むものである。

以上でございます。

(岡田千曲市長)

この際、提案市の岡田市長さんから補足説明等がございましたら、よろしくお願いいたします。

(牛越大町市長)

はい。提案要旨のとおりでございます。長野県道路公社が運営します有料道路というのは、各圏域を結ぶ非常に広域的な幹線道路でありますし、また観光の面からも広域的な交流というのは非常に重要な要素になっております。

下の提案理由のところにもありますように、これからさまざまな観光イベントが予定される中でこのような無料化、あるいは早期の無料化ということについて、特にお願い申し上げます。

なお、1点だけ訂正をさせていただきます。7ページになりますけれども、「現況及び課題等」の下から5行目のところに、「善光寺の御開帳、平成27年5月の諏訪御柱祭り」、これは諏訪市長さんにお叱りをいただきました。平成28年の5月が諏訪御柱ですので、27を28とご訂正をいただき、ご審議のほどお願い申し上げます。

以上です。

(岡田千曲市長)

ありがとうございました。そのようなことで、ご訂正が1カ所ございましたので、よろしくお願いいたします。

それでは、県のお考えをお聞かせいただきたいと思います。

(池田県市町村課長)

市町村課長の池田でございます。ご要望に対しまして、順次回答をさせていただきます。着座にて失礼いたします。

それでは、大町市さんからのご要望にございました、長野県道路公社が管理しております有料道路の無料化ということでございます。

県といたしましても、道路公社が管理する有料道路は、大変重要な幹線道路と認識をさせていただいております。長野県道路公社が管理する有料道路の無料化や、有料道路周辺の一般道路沿線の道路環境改善のため、有料道路料金の引き下げにより有料道路への交通転換を図る、いわゆる社会実験の時間延長につきましては、これまでも多くの皆様からご要望を頂戴しているところでございます。

ただ、そのときに説明をさせていただいているのですが、これらは建設経費の未償還額を受益者に代わって県民が負担する形となるため、現時点では非常に困難だということをご説明をさせていただいているところです。

一方で、通勤・通学・通院など、日常的な有料道路利用者の負担軽減を目的とした事業を、この4月から市町村の皆様のご理解を頂戴しながら実施させていただいております。8月1日現在、大町市さんをはじめ、11市町村で実施されているものでございます。なにぶん、本年4月からスタートしたばかりの事業でございます。今後も市町村の皆様のご意見を十分伺いながら、事業を実施してまいりたいと考えておりますので、どうぞご理解を頂戴したいということでございます。よろしく願いいたします。

(岡田千曲市長)

県からご説明いただきましたが、なかなか難しいようでありますけれども、ご質問・ご意見等がございましたらよろしく願いいたします。

はい、安曇野市長さん。

(宮澤安曇野市長)

大町市さんの方から言われたとおり、これは県の道路公社が管理すべき課題であって、本来なら、県にしっかり責任を持ってやっていただかなければいけない課題だと思っております。県民に対して負担割合が、取り組める市町村と取り組めない市町村では、大変不公平が生じるということになります。従って、この提案のとおり、1日も早く無料化を促進していただいて、県民の利便性を講じていただきたいと思っております。

さらに今、通勤・通学時間帯ということでございますけれども、私どもが利用者の状況を見て、いろいろと要望をいただいておりますことは、鹿教湯病院に入院をされている方々、あるいは見舞いに行かれる方々、そして家族の付き添いの皆さん等にとっては、通勤・通学時間帯に必ずしも合わせられないという事情がございます。従って、弱者の皆さんに対する配慮に欠けると思っておりますので、鹿教湯病院等を利用されている皆さん方の利便

性についても、十分配慮をいただくような体制をお願いしたいと思います。

(岡田千曲市長)

塩尻市長さん、お願いします。

(小口塩尻市長)

はい、今、宮澤市長がおっしゃったことに加えまして、うちも近隣で利用者が少ない上に、やっていないのが珍しい塩尻市でございまして、今の観点から、いわゆる通勤時間帯のみの受益でいいのかという疑問が多くの皆様から寄せられております。かなり制度に詳しい方からは、「塩尻市でやってないのは、税金を納めている立場からは文句がある」というメールが来るわけでございます。

だから、ささいなことなのですが、通勤に使われる方の、いわゆる事業者負担、簡単に言いますと、通勤費の中に有料道路が入っているかどうか、例えば、県の職員が塩尻から三才山を通過して上田へ通っているという例があるのです。この方が県からお金をもらっているとするれば、また市の税金でそこに1割負担すると、二重な公費の投入になって、「これは、まるっきりおかしいじゃないか」という声があるわけです。その辺をちょっとあとで、私も勉強不足ですみませんが、教えていただけたらと思います。

今、県を分かりやすく例に挙げましたけれども、その他のいわゆる民間事業者も含めて、通勤費で、今言った有料代が請求できるものなのか、できないものなのか。当然、民間会社のポリシーによって違うと思いますけれども、まず県に限らず、公共団体という表現でいいですかね、公共の通勤費に今の部分、県の割引部分が入っているとすると、それを自治体が補てんすることは全く私もおかしいと思いますので、10円、20円の話かもしれませんが、そこだけ、あとで分かった時点で教えてください。

(岡田千曲市長)

他にございますか。まとめて県から回答をしていただきます。

上田市長さん、どうぞ。

(母袋上田市長)

はい。東信地域からも一言言わせていただきますが、まずちょっと訂正ですけれども、説明の中のNHK大河ドラマは、これも28年です。27年と書いてありますけれども、28年からということでございます。

いずれにしろ、長野県そのものの回遊性を、観光客がお越しいただく中でどう深めるかということですから、私はやはり、中信、あるいは南信と東信地域の大動脈が、「いつまでも有料化で」というのは好ましくないと思います。観光客に優しくないと思います。

ただ、今回4月からの11市町村と県とのコラボで料金低減化を図る。これは一つの、第

一步、前へということでは評価はいたしますが、1年でも早く無料化ということが実現するように、やはりいろいろな頭を巡らせて、県でも責任を持って対応してもらいたいと思います。

(岡田千曲市長)

意見が出尽くしているようでありますので、ここで県からご回答をいただきます。

(池田県市町村課長)

はい、ありがとうございます。塩尻市長さんからのご質問につきましては、こちらに今手持ちの資料はございません。現在調べさせていただいておりますので、分かり次第、ご連絡させていただきます。

それから、安曇野市長さんからいただいた、通院の方の時間帯は、確かに割引の時間帯とずれる場合があるというお話も建設部の方で伺っているところでございます。いずれにしても、この制度は始まってすぐでございますので、いろいろな皆様のご意見を聞きながら、改善すべき点はしていかななくてはいけないと思っておりますので、その点も建設部の方に伝えてまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

(岡田千曲市長)

県からご回答とまいりましょうか、ご意見がございました。他にご意見がありますか。時間の関係もありますので、ないようでありますから、本案につきましては、原案のとおり採択することにご異議はございませんか。

(「異議なし。」との声あり)

(岡田千曲市長)

ありがとうございます。ご異議はないようでございますので、本議題を採択することに決定いたしました。

## 議題2 地方鉄道の支援について

(岡田千曲市長)

続きまして、現行制度の拡充を求めるものとして、「議題2 地方鉄道の支援について」を議題といたします。議題の要旨を朗読願います。

(石井千曲市秘書広報課主任主事)

少子高齢化の進展や低炭素社会の実現に向けて、地域公共交通の重要性が見直されつつあるが、多額の設備投資を必要とする地方鉄道の維持・確保は困難な状況にある。

鉄道事業者においては、計画的な安全対策事業の推進に努めており、継続性のある地域の実情に即した支援スキームを基とした、重点的な財政支援など、鉄道を恒久的に維持していくための国の予算額の確保を要望する。

以上でございます。

(岡田千曲市長)

はい、ありがとうございます。提案市の上田市長さんから補足説明等がございましたら、お願いいたします。

(母袋上田市長)

まさにこのとおりでございます。地域の公共交通は、鉄道にしろ、バスにしろ、いろいろあるわけですが、これを守るのは市であり、大変なことでございます。上田市の地方鉄道について言いますと、しなの鉄道があり、別所線がありということで、特に別所線についてはわが市だけ走っていることから、安全面を優先した多額の公的支援をしているということに尽きるわけです。これも国・県補助はいただいているのですが、なかなか全国的目配りの中で、十分なものになっていないということが不満としてございます。従って、国に対しては予算の確保を強く要望してもらいたいと思います。

(岡田千曲市長)

はい、ありがとうございました。

それでは、県からご意見をお願いいたします。

(池田県市町村課長)

はい、地方鉄道の支援についてのご要望でございます。

先ほどのご説明にもございましたように、上田市さんにおかれましては、別所線の存続のために、国が想定する補助スキームを超える割合で補助を行っていただくなど、大変積極的に支援を行っていただいているということを承知させていただいております。

国では、地域が鉄道の維持・活性化に取り組んでいる場合、そのような地域が主導する意欲的な取り組みに対しまして、積極的に支援をすることでございますが、今年度は、全国からの補助要望額に対して国の予算額が不足をし、鉄道事業者が予定している事業が一部実施できなくなるというような状況となっている、ということでございます。

県といたしましても、鉄道の安全な運行を維持するために、必要な設備整備が滞ってはならないと認識をしておりまして、5月に市長会さんをはじめ、六団体で合同で、国に対して本事業に係る予算の確保を要請したところでございます。今後も鉄道路線の維持のため、国や市町村と協力しながら、引き続き国に対しても強く要望してまいりたいと考えて

おりますので、よろしくお願いいたします。

以上でございます。

(岡田千曲市長)

ありがとうございました。本議題に対しまして、ご質問・ご意見等がございましたら、お願いいたします。県の意向も上田市さんと同じでありますので、よろしいでしょうか。

特にご意見がありませんので、質疑を終結し、本議題につきましては原案のとおり採択することにご異議ございませんか。

(「異議なし。」との声あり)

(岡田千曲市長)

ありがとうございます。本議題を採択することに決定いたしました。

### 議題3 国土交通省の高性能レーダシステム「XRAIN(エクスレイン)」の観測エリアの拡大について

(岡田千曲市長)

続きまして「議題3 国土交通省の高性能レーダシステム「XRAIN(エクスレイン)」の観測エリアの拡大について」を議題といたします。議題の朗読をお願いします。

(石井千曲市秘書広報課主任主事)

国土交通省では現在、局所的な大雨(いわゆるゲリラ豪雨)をほぼリアルタイムに観測可能な「XバンドMPレーダネットワーク」、通称XRAIN(エクスレイン)の整備・運用を進めており、現在全国で37のレーダが設置されているところである。しかし、長野県内に同レーダは設置されておらず、県のほぼ全域が観測対象外となっている。県内全域を対象としたXRAINレーダを早期に設置していただきたい。

以上でございます。

(岡田千曲市長)

はい、ありがとうございました。それでは、ここで、上田市さん、そして佐久市さん、安曇野市さんからの提案でありますので、それぞれの市長さんから補足説明等がございましたら、順次お願いをいたします。はじめに、佐久市長さん、お願いします。

(柳田佐久市長)

はい。今のXRAINの話でございますけれども、ちょっと状況変化がありまして、国土交通省のXRAINに関しては、250mメッシュで整備されていたところでもありますけれ



ども、気象庁で持っているレーダー・ナウキャストという装置においては1kmメッシュという形で、現在のゲリラ豪雨では、対応としては少し精度がいかかがかという話がありました。

一方で、この間に、8月の上旬に気象庁の高解像度ナウキャストという新しい装置が装備されております。これはXRAINと同じに250mメッシュなのですけれども、配信までの所要時間が少し長めになっているという形であります。ある意味でいいますと、気象庁と国土交通省で二重の投資のようにも見えるわけですけれども、その辺の整備も含めて、精度の高さということと、時間的な精度を上げていくという意味でも交通整理をしながら、長野県のゲリラ豪雨をはじめとする異常気象に対する対応を、きちんと取っていく必要があるだろうと思っているところでございます。

また、県の方の皆様におかれましても、特段のご配慮、国へのつなぎをお願いしたいということでございます。以上です。

(岡田千曲市長)

上田市長さん、補足がございましたら、お願いします。

(母袋上田市長)

私は、そのとおりでございます。お願いします。

(岡田千曲市長)

では、安曇野市長さん、お願いします。

(宮澤安曇野市長)

今、柳田市長の方からお話があったとおりでございますけれども、現在、お聞きするところによると、全国に37のレーダが設置されていると聞いております。県内においては、レーダは設置されていなくて、県のほぼ全域が観測対象外となっていると聞いております。従って、大雨警報、あるいは土石流災害等の警報といったものがごく一部に限られているということでございます。レーダの観測地域はほとんど都市部が中心という状況の中で、県境に接する一部市町村だけ、長野県では限られた地域が対象になっているとお聞きいたしております。従って、観測対象外になっている長野県についても、しっかりした災害対策についての事前予防が大切になってくると考えております。

今、自民党の災害対策特別委員会が、全国の空白地域を解消したいという動きがあるということでございまして、来年度の予算編成期に向けて、県としても積極的に、国に設置方法、そして予算要望をしていただきたいと思いますようお願いを申し上げる次第であります。

(岡田千曲市長)

はい、ありがとうございます。  
それでは、県からお願いいたします。

(池田県市町村課長)

はい。XRAINの観測エリアの拡大についてのご要望でございます。

安曇野市長さんがおっしゃられたように、現在、全国に37基設置してございますが、大きくは3大都市圏などや北陸の4エリアに集中しているという状況でございます。

XRAINにつきましては、局地的な大雨に対して有効な観測手法と認識しておりまして、本年度も知事と、関東・北陸・中部地方整備局長との懇談や、長野県事業連絡協議会などにおいても、XRAINをはじめとした、長野県の地形に応じた最新の高観測システムの配備について要望を行ったところでございます。また、南木曾町の災害を受けまして、緊急的にXRAINの早急な配備についての要望を、8月に国や国会に対して行ったところでもございます。

いずれにしましても、佐久市長さんのご指摘にございましたように、観測機器のいろいろな進捗もございます。気象庁とも連携を取りながら、さまざまな機会をとらえながら、XRAINをはじめとした最新の高観測システムの整備を、引き続き国へ要望してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

(岡田千曲市長)

はい、ありがとうございます。

本議題に対しましてご質問・ご意見等がございましたら、よろしくお願ひします。長野県が外れているということは私も本当に驚きなのです。まさかと思ひますけれども、外れているようでありまして、これはぜひともお願ひしたいと思ひております。他にご質問はございませんでしょうか。

(「ありません。」との声あり)

(岡田千曲市長)

はい、特にありませんので、質疑を終了します。本議案につきまして、原案のとおり採択することにご異議ございませんか。

(「はい。」との声あり)

(岡田千曲市長)

ありがとうございます。そのようにさせていただきます。

#### 議題4 少子化対策の充実について

(岡田千曲市長)

続きまして、「議題の4 少子化対策の充実について」を議題といたします。議題の要旨の朗読をお願いします。

(石井千曲市秘書広報課主任主事)

「地域少子化対策強化事業」の対象事業の拡大と継続的な財源確保を要望する。  
以上でございます。

(岡田千曲市長)

提案市の駒ヶ根市長さんから、補足説明がございましたら、お願いいたします。

(杉本駒ヶ根市長)

少子化の話は、先ほどのあいさつの中でも県の方から話がありましたし、阿部知事も今回2期目の中で、政策の大きな柱としていると思います。国においても、皆様ご承知のとおり、25年度の補正限りということで「地域少子化対策強化事業」ができましたけれども、国を挙げてということでもあります。

取り組む課題も、それぞれの地域によって違ったり、複雑化していると思いますので、そのような意味でも、国、地方を挙げて、今こそまさに少子化のための予算を充実するときではないかと思っていますので、ぜひ皆さんにも賛同していただいて、これを一つの大きな起爆剤として、前例として少子化対策に取り組まないと、やはり日本、地域にとっても将来に禍根を残すことになってはいけないと思いますので、そのようなことで、私たちも取り組みますけれども、限られた財源でありますので、県は入っていませんけれども、私は県からも支援をいただけるかと思っていますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

(岡田千曲市長)

はい、ありがとうございました。  
それでは、県からよろしくお願ひします。

(池田県市町村課長)

はい。少子化対策についてのご要望でございます。

今、お話にもございましたように、「地域少子化対策強化事業」でございますが、これにつきましては、地方の裁量を拡大した上で、引き続き地方を支援されるよう、先ほど申しましたように、本年5月に実施しました六団体合同での国への要請においても、地方からの意見を踏まえて、本制度を検証した上で、継続的な財源の確保を提案しているところで

ございます。

また、11 県知事から成ります「子育て同盟」でも、5月に開催いたしましたサミットにおいて、本事業について交付額の拡大と柔軟な制度運用を国に提案することを決議いたしまして、6月には同盟を代表して、知事が森少子化担当大臣に対し、要請を行っているところでございます。

いずれにしても、県政の重要な柱でもございます。来年度予算編成に向けて、早急に国へも要望したいと思っておりますし、県としても積極的に取り組んでまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

(岡田千曲市長)

はい、ありがとうございます。

本議題に対しまして、ご質問・ご意見等をお願いいたします。

どうぞ、長野市長さん。

(加藤長野市長)

少子化対策につきましては、本当に国を挙げてやっていくべき問題でございます。

ただ、非常にいろいろな少子化対策がございまして、それにつきまして各市町村が、逆にサービス合戦になっている。「俺のとはこれやる」、「こっちがある」という形になっておりますので、できれば県が主導して、長野県民であれば「この市町村」ということではなくて、等しく同じようなレベルのサービスの恩恵が受けれるというような、婚活にしてもそうでございますし、いろいろな問題を、できれば県が主導した形の中で、各市町村の調整をしていくような形にさせていただければありがたいと思います。

(岡田千曲市長)

他にございませんでしょうか。

伊那市長さん、どうぞ。

(白鳥伊那市長)

このことについては、各市町村まで含めると、皆、深刻な課題として取り組んでいると思いますが、やはり長野県全体をどうするかということ、旗振りをして進めてもらいたいという思いがあります。

もちろん各自治体でもやるのですけれども、例えば今度の「銀座NAGANO」というのは、非常に私は素晴らしい場所に素晴らしいものができたと思っております。「移住をしたい」や「住みたいところ」ナンバーワンの信州とありますので、そのようなところで少子化対策のみこしを上げて、都市部で発信ができると思うのです。また、名古屋や大阪の県の出先もありますので、そのようなところを利用して、やはり全県的な取り組みとして、

しっかりと県を中心にやっていっていただきたいと思います。

(岡田千曲市長)

ありがとうございました。他にございませんか。

それでは、ここで県からご回答をお願いいたします。

(池田県市町村課長)

はい。少子化対策は、確かにさまざまな市町村で、さまざまな施策に取り組んでいらっしゃいます。県としてもやっています。これにつきましては、例えばこの5月に、県と市町村との協議の場で少子化対策について協議をさせていただきまして、現在、市町村の皆さんを交えて、ワーキンググループで検討させていただいております。全県的ないろいろな施策や、それぞれで協働した施策など、検討を始めているところでございますので、そちらの方でまた何らかのご支援をさせていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

(岡田千曲市長)

ということではありますが、何かご質問はよろしいでしょうか。特にご質問がないようでありますので、質疑を終了し、本議題につきまして、原案のとおり採択することにご異議ございませんか。

(「異議なし。」との声あり)

(岡田千曲市長)

異議ないようでございますので、本議題を採択することに決定いたしました。

#### **議題5 老朽化農業用水利施設の基盤整備（改修）事業の拡充について**

(岡田千曲市長)

続きまして、「議題5 老朽化農業用水利施設の基盤整備事業の拡充について」を議題といたします。議題の要旨の朗読を願います。

(石井千曲市秘書広報課主任主事)

農業用施設の抜本的改修について、国・県による事業拡大と補助率アップなど一層の支援をお願いしたい。

以上でございます。

(岡田千曲市長)

提案市の飯山市長さんから、補足説明等がございましたら、お願いいたします。

(足立飯山市長)

はい、そこにあります「提案理由」、それから「現況及び課題等」に書いてあるとおりですけれども、ここでいう農業用水路というものは大型の水路なのです。小さい規模のものではなくて、大変大型な水利施設なのですが、老朽化すると、今も、下にありますように、県営のかんがい排水事業、基幹水利ストックマネジメントのような事業もあるのですが、このような負担になっています。

それで、飯山市の方でも、施設改良のうちの、当面やらなければならないというエリアをやったのですが、約3億円かかりました。ところが、地元の土地改良区はすでに解散をしまっているのです。結局これは市が負担をしました。従って、7,500万円なのですが、これからまだまだ、いろいろなところでこのようなものが出てくると思います。

それからもう一つは、今国が進めています、いわゆる農地の中間管理機構という形で、小規模農家はやめて、担い手を大型農家に集積していこうということなのです。そうしますと、小規模農家がそうした施設の負担をしていくということは、所有者は、もう現実には無理ですし、仮に所有者ではなくて借りる人が負担をするようになりますと、ばく大な金を担い手が負担するということになりまして、そもそも国が進める農地集積ということが、現実的には難しいのではないかと痛感するわけでございます。ぜひ、もっと国の方の支援につきましての支援をお願いしたいということでございますので、よろしく申し上げます。

(岡田千曲市長)

ありがとうございました。

本議題に対しまして、県からご意見がございましたら、お願いします。

(池田県市町村課長)

はい。老朽化農業用水利施設の基盤整備事業の拡充についてのご要望でございます。

農業用の用排水路や畑地かんがい施設など、農業用水利施設につきましては昭和30年代から50年代に建設・更新されたものが多く、老朽化による更新・改修事業がピークを迎えているというのが現状でございます。県といたしましては、施設の機能診断や機能保全計画の策定を行うことにより、従来の抜本的改修から既存施設の計画的な補修・更新による長寿命化対策に転換いたしまして、改修費用の受益者負担の低減・平準化を図っているところでございます。

各地域の皆様の要望に的確に応えながら、農業用水利施設の長寿命化対策を着実に実施できるよう、本年5月には、先ほどから何度も申しているように、六団体合同で要望させていただいておりますし、また、県単独でも、農政部長が国に対しまして十分な農業農村整備事業予算の確保を要望しております。今後も強く国に対して要望して参りたいと考え

ておりますので、よろしくお願いいたします。

(岡田千曲市長)

ありがとうございました。

本議題に対しまして、ご質問・ご意見等がございましたら、お願いいたします。ないですか。特によろしいでしょうか。

(「はい。」との声あり)

(岡田千曲市長)

質疑を終了しまして、本議題につきましては、原案のとおり採択することに、ご異議はございませんか。

(「異議なし。」との声あり)

(岡田千曲市長)

異議なしということですので、本議題を採択することに決定いたしました。

## 議題6 山の日制定を契機とした関連施策の充実について

(岡田千曲市長)

続きまして、「議題6 山の日制定を契機とした関連施策の充実について」を議題といたします。議題の要旨の朗読をお願いいたします。

(石井千曲市秘書広報課主任主事)

県や国の山の日制定に伴い、戦略的な取組みが重要であることから、必要な環境整備・自然環境保全に係る事業を総合的に整理するとともに、実施に伴う規制（支障木の伐採や借地手続き等）についても関係省庁に規制緩和の要請を行うほか、申請等の手続きから許可を受けるまでの事務手続きの簡素化を求める。

以上でございます。

(岡田千曲市長)

朗読が終わりました。提案市の大町市長さんから補足説明がございましたら、よろしくお願いいたします。

(牛越大町市長)

はい。まず「山の日」、これは国でも施行は再来年ですが、県でも「信州山の日」が制定

されました。

長野県では、もちろん山の持つ自然の恵みに感謝したり、恩恵に思いを致すということが主旨であります。長野県にとっては、全国有数の、あるいは国際的な山岳観光地を多く抱えているという観点から、やはり観光という軸を大事に考えていきたい、としたときに、さまざまな山岳観光を通じての交流人口を拡大する。そのたびに、これは里でも、社会全体にさまざまな許認可、規制がかかっているわけですけれども、例えば国立公園内では、山においても極端にそうした規制の厳しさが表れてまいります。そのような意味で里の規制緩和以上に、山岳観光に資するような山の上でのさまざまな規制については、さまざま分野にわたって規制緩和をぜひお願いしたいというのが、主旨でございます。

以上でございます。

(岡田千曲市長)

はい、ありがとうございます。

それでは、県からご意見をお願いいたします。

(池田県市町村課長)

はい。大町市長さんからのご要望でございますが。

県といたしましては、本年度、先ほどもお話にございましたように、「信州の山、新世紀元年」を契機といたしまして、世界水準の滞在型山岳高原観光地を目指して総合的な取り組みを行っているところでございます。例えば、山岳環境の保全と適正利用のあり方については、長野県山岳環境連絡会を設置させていただきまして、県下の山岳関係者や、国や市町村の皆様と合意形成を図りつつ、方針を策定するとともに、山域ごとの取り組みや課題などの共有を図ることとしております。

ただ、市長さんのお話にもございますように、山に関しましては、水源のかん養や山地災害の防止など、重要な役割が失われないように、伐採や土地の形質の変更を制限したり、保護が必要な自然の風景地を適正に守り利用するために、森林法や自然公園法で、一定の制限や手続きが必要になるということは、やむを得ないことと理解をさせていただいております。

なお、ご要望にございましたように、道標設置など、信州の山の魅力を高める許認可申請事務につきましては、手続きが迅速に行えますよう国との調整に努めるとともに、県知事の許可案件に係る手続きについても、一層迅速化を図るよう努めてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

(岡田千曲市長)

はい、ありがとうございます。

本議題に対しまして、ご質問・ご意見等がございましたら、お願いいたします。



はい、小諸市長さん、どうぞ。

(柳田小諸市長)

小諸市では、近年、浅間山、高峰高原の登山者が増加しておりまして、大町市さんと同様に、駐車場の確保、登山道の整備、山小屋のし尿処理等に課題を抱えております。支障木の伐採や借地手続き等について、申請の事務手続きが非常に面倒だということで、簡素化されることがどうしても必要であると考えております。登山道の整備につきましても、やはりある程度簡素化して進めさせていただきたいと思いますが、よろしく願いいたします。

(岡田千曲市長)

他にご意見はございますか。それでは、駒ヶ根市長さん、お願いいたします。

(杉本駒ヶ根市長)

登山道の整備の話は、前々から駒ヶ根市からも出させていただいているところであります。そうした中で、今回、特に山岳環境連絡会が設置されたということは非常にうれしく思っています。

駒ヶ根市も中央アルプスが管内にあるのですけれども、あそこは県立の自然公園内なのです。でも、整備をするのが市で、それに許可を得なければいけないので、許可を得るのに一月以上かかる場合もある。また、いろいろなことをすると、またおしかりを受けたりするので、ちょっと理不尽かなと思うところもあります。

それから、登山道は市町村だけではなくて、市町村の境ですので、今回県で「信州山の日」を定めたということでもありますので、費用負担を含めて、主体的・主導的に、ぜひ県にも関わっていただきたいと思います。できれば、登山道の整備に関して、「こういう基準でやれば、ガイドラインならすぐにやってもいいですよ」ということを、ぜひ示してもらいたいと思います。そのようにしないと、石一つ動かすにも許可を得なければいけないというのは、どうしても、県立なので、あまり言われるなら県にお返ししたいと思うときがあるので、そのような意味では、いい機会なので、県と一緒にできるような仕組みを作っていただきたいと思います。ぜひよろしくお願いいたします。

(岡田千曲市長)

ありがとうございました。次は上田市長さん、お願いいたします。

(母袋上田市長)

はい。最近の登山される人の動きを見ていますと、アルプス系など、高い山への登山と、あるいは歴史探訪的な面から、低い山でも登山ということが見受けられます。大変増えて

まいりました。非常に喜ばしいことだと思っています。今、それぞれ出ている登山道の整備はもちろんですが、管理の面についても法的な整備が現状ない中で、やはりその整備が必要だろうと思います。

もう一つは県にですが、観光トイレ的なものです。この補助制度が今年度で終わるという話もお聞きしておりますが、もう少し延長してもらって、必要な場所にはやはり作りたいとわれわれは考えていますので、補助制度の延長をよろしくお願ひしたいと思っています。

(岡田千曲市長)

はい、伊那の市長さん、お願いします。

(白鳥伊那市長)

長野県の山の日、また日本の山の日制定というものを非常に私は歓迎したいと思うのです。その中で、長野県というのは他県に比べても山をしっかり持っていますので、こうした山岳観光というものを、戦略性を持って、もっと市町村と連携をして長期的なビジョンを示しながらやっていかないと、観光になっていかないと思います。特に国内の登山客や観光客の受け入れはもちろんなのですが、外国からのお客さんが大変増えております。アジア圏を中心とした、特に韓国の登山客が爆発的に増えています。そのような態勢についての備えがまだないということ。

また他には、例えばサインです。登山道のところにあるサイン、道標もまちまちです。表記もまちまち、形も色もすべて任せっぱなし。ですから、来る皆さんが、いろいろな山に行く、あるいは県境を越えて山を下る、上がるなどという場合についても、全部表記してあるものが違ってきている。これはもう、安全面について言ってもやはり危険なことでありますし、また、トイレのこともしかり、パンフレットのこともしかり。非常に大きな宝物としての山岳を抱えていながらも、もったいないことがずっと今まで続いておりますから、ぜひ県として、戦略性を持った山岳観光のあり方というものをやはり論じていくべきだと思います。

入山料の話も棚上げになっていますし、今言ったようなガイドのことも棚上げになっていると伺いますか、それぞれの山域でやってはいるのでしょうけれども、レベルが違っていたりということになりますので、せつかく長野県を売り出すのに絶好の山岳や高原がありますので、ぜひ担当の方で、戦略性を持った取り組みを、県下のいろいろな市町村とも連携してやっていってほしいと思います。

(岡田千曲市長)

ありがとうございました。さまざまな議題が出ましたので、ここで県の方からお願ひいたします。

(池田県市町村課長)

はい。数々のご指摘を頂戴しまして、ありがとうございます。戦略的な山の利用の方針などにつきましては、先ほど申し上げた長野県山岳環境連絡会、これは下部組織など、ワーキンググループもございまして、立ち上げたばかりでございますが、その中で、しっかりと検討して方針を作っていきたいと考えております。

また、規制緩和の関係でございますが、国とのさまざまな連絡会議もございます。その中でご要望や皆様の声を聞きながら、国に伝えてまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

(岡田千曲市長)

ということではありますが、まだ他にございますか。特にございませんようですので、本議題につきましては、原案のとおり採択することにご異議ございませんか。

(「異議なし。」との声あり)

(岡田千曲市長)

ありがとうございます。ないようでありますので、本議題を採択することに決定いたしました。

## 議題7 地域特性を活用したスポーツ関連施設の充実、事前合宿誘致に関する支援について

(岡田千曲市長)

続きまして、新たな施策の要望又は提案を求めるものとして、「議題7 地域特性を活用したスポーツ関連施設の充実、事前合宿誘致に関する支援について」を議題といたします。

議題の要旨の朗読をお願いいたします。

(石井千曲市秘書広報課主任主事)

国の「スポーツ立国戦略」の施策である「世界で競い合うトップアスリートの育成・強化」を推進するにあたり、本県においても各地でアスリートの合宿受入、強化施設の整備が検討されている。

スポーツ振興のための財源を確保し、高地トレーニング等の地域特性を活用した施設整備等に関する制度の創設又は拡充等を国及び県に求める。

以上でございます。

(岡田千曲市長)

それでは、提案市の東御市さん、上田市さん、小諸市さんから、それぞれ補足説明がご

ございましたら、順次お願いいたします。

(花岡東御市長)

では、私の方から一つ。まず、スポーツ施設の充実、設置に関しては、非常に多額のお金がかかるということが一般論としてあると思うのですが、競技人口が限られている施設等に関しても、いろいろな賛否が分かれるというような難しい面を持っている。そのようなことがスポーツ施設の特性かなと思っているのですが、市街地においてそのようなものを整備するという点に関しては、ある程度の補助事業が活用できるという体制が整っているわけです。

けれども、長野県のように、そのような意味では、特性を生かそうとした高さを利用したような形で、スポーツ合宿、それに関連した施設を充実させようとしたら、それに伴う補助事業や起債事業が現時点ではほとんど存在していない、活用できない状況にあるということが、身をもって分かってきたということが正直なところであります。

そのようなこともあってか、私の私論ですが、国体やオリンピックなどのビッグイベントを活用して施設の整備をやってきた歴史があると思うのですが、長野県も国体は37年前の1977年に行われていて、それを活用した施設整備ということで、基本的には中信を中心に国体が行われた。あと、オリンピックということで、冬のオリンピックが北信を中心に行われたというような形の中で、37年が経過しております。

そうすると、次の国体というのは12年後ぐらい、前後が50年という目安があると思うのです。ちょうど12年後というトリニアという形になってくると、中南信というところでの開催も、一つの有力候補になりうるのではないかと個人的には思っています。そうしますと、「国体を活用して、長野県全体の体育施設を充実させていこう」ということに関しては、ある意味では無理が生じるという気がしています。

そのような中で、6年後のオリンピックということで、2020年東京オリンピック・パラリンピックが決定してすでに1年たっているわけですが、長野県の高さを活用した、トップアスリートなどの施設の充実のようなものに関しては、やはり地域特性と地域バランスを持って県に対応していただいたり、また、都市部・市街地以外の施設整備に関して、ぜひ国にそのための補助事業や起債を認めていくようなシステム作りを要望していただきたいという主旨であります。

(岡田千曲市長)

ありがとうございます。上田市さん、小諸市さんの方からお願いします。

(母袋上田市長)

今回、上田市の場合は菅平というスポーツのメッカがあって、かねがね整備されてきている。ただ、今までスポットが当たっていなかった高地トレーニング、あるいは準高地的

な標高の高いところで心肺機能を強め、技術を磨くという視点を、もっと国の戦略として強めてもいいのではないかと考えていました。

そのような中で、たまたまといいますか、ラグビーワールドカップや五輪が来るということで、ロケーション的に東信地域エリア一帯がこのようなものにはなっているのではないかと、東御市さんを中心に、われわれも今スクラムを組み始めて、国・県にお願いをし始めているというのが現実です。従って、エリア全域や、県下のあちらこちらで、各国の選手などをもっと招致したい、そのようなことであれば、一体的に運動も強められますし、その一つの大きなポイントとして、やはりこの高地トレーニングが重要であり、それには、施設等への整備に対する支援策を強く求めたいと思っています。

(岡田千曲市長)

ありがとうございます。最後に小諸市さん、お願いいたします。

(柳田小諸市長)

はい。今、東御市さんのおっしゃったとおりでございまして、町中の体育施設、例えば体育館を造るなどといったものに対しては補助があるわけですけれども、高地ということになりますと、市街地から外れているというような点で、それに対する補助制度というものはまだ何もないという状況でございます。そのあたりを何とかお力添えをお願いしたいという考えでございますが、よろしくお願いいたします。

(岡田千曲市長)

ありがとうございます。それでは、県からご意見をお願いいたします。

(池田県市町村課長)

はい。高地トレーニング施設整備などにつきましては、さまざまな要望を私どもも頂戴しているところでございます。

今年も東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿につきましては、県の方でアンケート調査を実施させていただきまして、県内で23の市町村さんが誘致を希望する意向を示しておられました。この3月に「2020年東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿誘致に係る市町村連絡会議」を開催させていただきまして、市町村担当者の皆様と意見交換を実施させていただいたところでもございます。

また、先ほどお話にありましたように、ラグビーの世界カップキャンプ地についても、上田市さんにおいて誘致の動きもあるということも十分承知させていただいております。

県といたしましては、先ほども申し上げましたように、本年の5月に六団体合同で、地方におけるスポーツ施設の支援など、東京オリンピック・パラリンピック競技大会等にお

ける地方への支援について、国に要望したところでもございます。また、施設整備に関する現行の国の補助制度などもお話に出ていますように、現在では文科省の学校施設環境改善交付金や、あるいは日本スポーツ振興センターのスポーツ振興くじ助成金がございますけれども、これではなかなか該当しない点もございます。

やはり県としても、必要な施設整備については、国に対し、補助制度の拡充や新たな制度の創設を要望してまいりたいと考えております。また、事前合宿の誘致についても、引き続き情報収集に務めながら、オリンピックなどの開催効果が本県の経済振興やスポーツ振興につながるように、市町村の皆様とわれわれ県が協力してまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

(岡田千曲市長)

県からの説明でありました。

本議題に対しまして、ご質問・ご意見等がございましたら、お願いいたします。

佐久市長さん、どうぞ。

(柳田佐久市長)

基本的な姿勢としては、そのような形で受け止めるわけでございますけれども、2020年の東京オリンピックということに関して、知事さんをはじめ、県として対応していこうという姿勢は耳にしたりすることがあるのですけれども、市町村の連携を強めながら、今、上田市さん・東御市さん・小諸市さんがお話しになられた、新たな施設を整備していくということも、高地トレーニングとして意味合いのあることだと思いますが、既存施設も使うことも含めて、東京五輪に対してどのようなお取り組みを考えているか。姿勢ということもお聞きしましたけれども、より具体的なお考えとして何かあれば、お話しできる範囲でご披歴いただければと思います。

(岡田千曲市長)

ありがとうございます。他によろしいでしょうか。それでは、ただいまの件につきまして、県からお願いします。

(池田県市町村課長)

東京オリンピック・パラリンピックにつきましては、庁内でこれに対してどのようなご支援をするかという対策、連絡会議のようなものは立ち上げておりますが、具体的な動きについてはちょっと私も存じていないものですから、そちらの方の担当部局に伝えさせていただいて、また情報提供をさせていただきたいと思っております。

(柳田佐久市長)

はい、分かりました。

(岡田千曲市長)

他にございませんでしょうか。特にないようでありますので、質疑を終了し、本議題につきましては、原案のとおり採択することに、ご異議ございませんか。

(「異議なし。」との声あり)

(岡田千曲市長)

ありがとうございます。異議がないようでございますので、本議題を採択することに決定いたしました。

#### 議題 8 文化事業への県支援の拡充について

(岡田千曲市長)

続きまして、特に市町村への財政支援策等を求めるものとして「議題 8 文化事業への県支援の拡充について」を議題といたします。

朗読願います。

(石井千曲市秘書広報課主任主事)

多くの県民に文化芸術に親しむ機会を提供し、豊かな県民生活の推進を図るため、県及び県文化振興事業団が主催する事業を各自治体等の運営する施設（ホール、博物館、美術館等）で開催するなど、全県下に拡充しての実施をお願いしたい。

また、各自治体等の運営する施設での事業に対し、県独自による新たな財政支援制度を創設するとともに、県において情報の一元化と積極的な情報発信できる仕組みの構築をお願いしたい。

以上でございます。

(岡田千曲市長)

ありがとうございます。

それでは、提案市の素晴らしい文化施設をお造りになった上田市さんから、補足説明を願います。

(母袋上田市長)

この項目は、かねがね私も、県、あるいは知事には、スポーツという面では、非常に派手さもあって多くの関心と呼ぶネタなのだけれども、文化芸術を通して人を育成する、地域の活性化をどう図れるかなどは、まさにこれからの時代の種ではないかと強く申してま

いました。そのような中で、知事も感じたのか、元文化庁長官まで招へいされたということで、大変そのような意味では評価をしております。

ただ、これまでの歩みの中で、県立文化会館があるところは県なり文化振興事業団が取り組んでやってきているけれども、それは東信地域にはないのです。従って、非常に不公平感があるのです。県に以前、上田地域の住民が、5万を超える署名を集めて県にお願いしたけれども全く無視されました。そのような中で「市が」ということで造りました。

これからランニング的な中で、やはり文化というものにもお金がかかるので、三つここに書いてございます。県としての役割をやはり文化芸術の面でもしっかり果たしてほしい。いろいろな施設を各市町村は持っていますから、そのようなところにも目配りして、冒頭に言った、人の育成や、町の活性化や、文化振興はもちろん、このようなものも、みんなです。やはり考えてほしい。その意味合いにおいて、今回、県の支援の拡充を強く求めたいと思います。

(岡田千曲市長)

ありがとうございました。

それでは、県からご意見をお願いします。

(池田県市町村課長)

はい。文化事業への県支援の拡充についてのご要望でございます。

平成24年度に施行されました、劇場、音楽堂等の活性化に関する法律は、劇場等の設置・運営者の双方が連携協力することなどが織り込まれたことや、上田市さんをはじめ、県内に新たな文化会館の開館が予定されていることなどを受けまして、県でも市町村の文化施設と県立文化施設が連携を図り、本県の文化振興を推進していくことを目的に、市町村と県の文化施設のネットワークの構築について、現在検討を始めたところでございます。

このような検討を今後進めていく中で、市町村施設と協働して、例えば世界的な楽団の招へいや、絵画の巡回展などの開催について、検討していきたいと考えております。また、情報の一元化、情報発信について市町村の皆様と一緒に考えていきたいと思っておりますので、またご協力をお願いしたいと考えているところでございます。

また、文化事業に対する新たな財政支援制度の創設でございますが、現段階では、市町村の予算で行う継続的な文化事業について、県独自の補助制度を創設するのはちょっと財政的な問題がございまして、困難な状況となっております。現在、文化庁文化関係財団の補助金を活用していただいたり、少し使いづらい点もあるのですが、「元気づくり支援金」などを活用していただいているというように聞いております。

いずれにしても、ネットワークの構築を検討していく中で、また市町村の皆様のご意見を伺ってまいりたいと考えております。その中で、意見を頂戴しながら、今後検討してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。



(岡田千曲市長)

ありがとうございました。

本議案につきまして、ご意見・ご質問がありましたら、お願いします。

はい、大町市長さん、お願いします。

(牛越大町市長)

ただいま池田課長さんから、県と市町村の文化施設にネットワーク作りということで、非常に心強いことでございます。

ただ、文化施設を中心とした文化振興事業を考えたときに、もちろん、いわゆる施設整備のハードの部分については財政措置があったり、市町村などのさまざまな財政措置が得られるのですが、それをいかに今度ソフト事業として有効活用していくか、魂を入れていくか。本来、文化事業というものは、そこに一番主眼が置かれるべきだと思うのです。

そのためには、設置する際にも、きちんと利用の促進を図る施策を盛り込んでいかなければいけないということは、私ども自身の責任ではあります。そのときに、施設を中心としないような文化芸術活動も広く広がっているわけでございます。大町市においても、今、一生懸命そうした軸で文化芸術振興を進めております。

実は、今回の県知事選挙に当たりまして、知事の公約の中に、決算剰余金の1%、今年で言えば約4,000万円ぐらいですか、を中心に、基金を作るという公約が示されておりました。この内容についてはこれから詰めていかれることと思いますが、その中でまず一つには、県事業に充当するだけでなく、今ご提案がありましたが、市町村との連携、あるいは市町村のレベルで展開される、特殊なといいますか、尖鋭的なソフト事業にも、ぜひこの基金を活用していただけるような手配のご配慮をお願いしたいということ、もう一つはやはり、幅広く文化振興事業に県の顔の見えるような施策を、ぜひ展開いただければと思います。要望でございます。

(岡田千曲市長))

須坂市長さん、お願いします。

(三木須坂市長)

上田市さんの提案で、私はいろいろある中で、特に情報の一元化と積極的な情報発信ができる仕組み作り、これは県と市町村、それから市町村同士、今、さまざまな市町村でもいい事業をやっているのですけれども、なかなか自分の市町村以外に情報発信ができにくいし、また知っていただくことができませんので、ぜひそのような仕組み作りを早めにやっていただきたいと思います。

それから二つ目は、国や国の外郭団体で文化事業に対する支援制度にいいものがありま

すので、そのようなものを県で音頭をとって紹介する機会を設けていただければ、国等の制度を活用できるのではないかと思いますので、そのようなことも検討していただきたい。以上です。

(岡田千曲市長)

ありがとうございました。他にございませんでしょうか。  
ないようでありますので、ここで県からご意見をお願いします。

(池田県市町村課長)

はい、ありがとうございます。大町市長さん、須坂市長さんからご指摘がございました点は、十分に担当部局の方へ伝えてまいりたいと思いますので、よろしくお願いします。

(岡田千曲市長)

他にご意見等ございませんので、本議案につきましては、原案のとおり採択することに、ご異議ございませんか。

(「異議なし。」との声あり)

(岡田千曲市長)

ありがとうございます。異議はないようでありますので、本議題を採択することに決定をいたしました。

ここで先ほどの県からの回答で、1番の道路公社の無料化の関係でありますけれども、再度答弁をさせてほしいということでもありますので、県からお願いいたします。

(池田県市町村課長)

はい。道路公社の有料道路の関係で、県職員の関係の質問が塩尻市長さんからございました。確かに県の通勤手当は、現在11回の回数券の料金相当で支給しているということで、今回の割引は現在のところ考慮されていないという状況でございます。

若干その割引の部分がどのような扱いになるのか。現在、市町村に販売状況を確認しております。それによっては、県の規定を変える必要もございますので、現在の販売状況の確認している中で、どのような規定にしておくのか検討してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いします。

(岡田千曲市長)

塩尻市長さん、よろしいでしょうか。

(小口塩尻市長)

制度の盲点の部分もある。制度設計を簡単に私から言わせれば、未熟な制度設計をされたということです。二重取りは絶対にないように、そこだけはシビアにやってもらいたいと思います。シンプルにしてもらえば一番いいのですけれども。

(岡田千曲市長)

よろしいでしょうか。ということであります。

以上をもちまして、各市の提出議題の審議を終了いたします。

## II 副市長・総務担当部長会議提出議題

(岡田千曲市長)

続きまして、本年7月4日に上田市で開催されました副市長・総務担当部長会議からの提出議題でございますが、時間の都合もございますので、13議題を一括審議したいと存じますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし。」との声あり)

(岡田千曲市長)

ありがとうございます。異議がないようでございますので、そのように進めることといたします。

該当する議案につきましては、現行制度の改善を求めるもの、1議題。現行制度の拡充を求めるもの、6議題。新たな施策の要望又は提案を求めるもの、3議題。特に市町村への財政支援策等を求めるもの、3議題でございます。

なお、副市長・総務担当部長会議での審議を経ておりまして、会議録も各市に送付されておりますので、議題の要旨の朗読及び提案市による補足説明につきましては省略しまして、会議録の送付以降、回答内容に変更が生じた議題についてのみ、県の説明をお聞きし、その後、皆様からご意見を伺うことといたしますので、よろしく願いいたします。

それでは、県からのご発言をお願いいたします。

(池田県市町村課長)

はい。副市長・総務担当部長会議の議題につきましては、前回回答したものと変更はございません。

(岡田千曲市長)

ありがとうございます。

それでは、特になくありますので、皆様からご質問、ご意見等がございましたら、

お願いしたいと存じます。

須坂市長さん、お願いいたします。

(三木須坂市長)

直接今回の議題には関係ないのですが、農地の規制緩和の関係で、開発基準の緩和について検討して下さるということで、大変感謝申し上げます。ありがとうございます。今まで、長年お願いしてきたのですけれども、なかなかできにくいところまで検討してもらっています。

それから、農地制度の見直しで、地方六団体で農林水産大臣に要望したということもありますので、県の方でも引き続き農地の規制等について、市町村の方へ権限移譲なり、また県の方へ委譲するように、強力にやっていただきたいと思います。

もう一つ大事なのは、なぜ規制があるかということ、ぜひ考えた上でやっていただきたい。先日話がありましたことは、直売所を設置する際に、極めて近隣の農家の人でなければ農産物が出せないということをおっしゃったけれども、都市計画等の農振の規制等は、広く須坂市なり、また長野市なり、小布施町等が含まれている中で、農業をいかに守るかということでもあります。直売所を設置する場合に、例えば広く、須坂だけではなく、長野や小布施など、農産物を提供することによって、その地域の農業が活性化することが大事でありますので、狭い範囲で考えなくて、今申し上げたように、広くその地域の農業をどうするかという観点で、直売所等を考えてもらえればありがたいと思います。

以上です。

(岡田千曲市長)

ありがとうございました。他にございますか。飯田市長さん、お願いします。

(牧野飯田市長)

はい。すみません、農地制度の話がありましたので、ちょっとご報告、情報提供という形でお話をさせていただきます。

今、六団体でまとめました「農地制度のあり方について」をベースにいたしまして、林農林水産大臣、それから新藤総務大臣兼地方分権改革特命大臣や、関係する国会議員の先生方のところを回らせていただいて、その説明をさせていただいております。大方の皆さん方のお受け止めは、私たちが想像している以上に、このような方向でいいのではないだろうかというような受け止めをしていただいているところでございますが、農水省の方におきましては、これから本格的な審議にかかってくるというところでございます。

総合的な土地利用の観点から申し上げますと、最後に残った岩盤規制といわれています農地でございますので、まだこれから山場がいくつもあるかと思いますが、当面のところにおきましては、国に対しまして六団体が、このような形でまとまるのは六団体では初め

てではないかといわれている中で、全体の農地制度のあり方についての見直しを求めている。そうした中で、市町村への権限移譲を求めていくということで、今、働きかけを続けているところでございます。

どうか各市長の皆様におかれましても、ご支援のほど、引き続きよろしく申し上げます。

(岡田千曲市長)

ありがとうございました。最近の状況を詳しく説明いただきまして、誠にありがとうございます。

県の方で何かありましたら、お願いします。

(池田県市町村課長)

ありがとうございます。先ほどいただいた件ですね。農政部の方へ伝えてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いします。

(岡田千曲市長)

他にございませんでしょうか。大町市長さん、お願いします。

(牛越大町市長)

副市長・総務担当部長会議から上がってきた中で、最後の13番目の「国の循環型社会形成推進交付金」についてでございます。これは、先日、諏訪圏域では新しい施設にいよいよ着工という、本当にうれしいニュースが飛び込んできました。

振り返ってみますと、25年度、昨年度は、全国一律に4割近いカットということで涙を飲んだわけですが、おかげさまで全国各地から、また長野県も知事を先頭に陳情いただいて、ようやく26年度については措置されたのですが、27年度以降、全国でも、いわゆる施設整備、本体整備に入ってくる事案が非常に増えてきているはずですので、また薄まきにされる可能性が非常に強いと思うのです。

これについては、所管の環境省が、非常に、何というのでしょうか、政治力が弱いといえますか、財政的にきちんと措置を支える力が弱いということもありますので、今年のうちから国の来年度予算の編成をめぐって、強烈に運動を展開しないとどうにもならない分野だと思います。ぜひ県においても、引き続き先頭に立っていただけますよう、お願い申し上げます。

以上です。

(岡田千曲市長)

岡谷市長さん、どうぞ。

(今井岡谷市長)

今、大町市長さんからお話しいただいたとおりなのですが、実は本年度は8%ぐらいカットされているのです。本年度、26年度分としましても。そのようなことで、いよいよ県内の各地区でも、これから本格化していきたくらうと思っております。非常に大きな財源が必要な事業でございますので、今、大町市長さんにおっしゃっていただきましたが、私どもも今年・来年・再来年、3年間にかけての大きな事業で、非常にお金のかかる事業だと思っておりますので、満額の補助が出るように、県を挙げて、市町村の皆さんに協力していただきながら、ぜひ動いていただければと思っております。

また、県につきましては、今度、全都道府県を巻き込んだような運動をしていただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。

(岡田千曲市長)

ありがとうございました。長野広域連合は、長野市長さんのところも、私もそうなのでしょうけれども、これから本格的にごみの焼却施設に手をつける段階になりました。これほど中途半端だと困るなということを常々思っております、私も以前、環境省に陳情に行ったことがあるのですけれども、なかなか、本当に考えてくれているのかどうなのか、ちょっと腹立たしい思いをして帰って来たことがあるのです。そのような意味では、ぜひとも県の方にもお願いしたいと存じます。

他にございませんか。安曇野市長さん、どうぞ。

(宮澤安曇野市長)

各市から農業振興についていろいろ課題が出されております。私どもとしても、このような機会でございますので、ぜひ県にご理解をいただいて、新年度予算にできれば生かしていただきたいと思うのです。

実は、団体営のほ場整備事業についてですが、村井知事のとときに1%、その前が10%ということで、田中知事のとときには0.5%というような県負担。農業立国、あるいは園芸王国日本一を目指している長野県において、後継者育成も含めて、中山間地農業をどうするかということになると、どうしても小規模の経営体であり、なかなか農地集約ができない。

このような中でも、営々と農業を続けたいという皆さんがおいででございますし、何とか小規模の中山間地農業の振興という意味から、団体営のほ場を、従来どおり10%県が負担をするような制度設計をしていただきたい。1%というと、全く形だけであって中身のない制度設計であります。従って、私も何回か農政部の方にもお願いをしておりますが、財政がないという一点張りで、遅々として前進を見ていないという状況がございます。

ぜひ新年度予算に向けて、これら地域農業、中山間地農業の振興の一助となるように、お力添えをいただきたいと思っております。

(岡田千曲市長)

ありがとうございます。

時間もないようではありますが、ぜひとも、副市長・総務担当部長会議で議論をしてきたわけでありますので、質疑については以上とさせていただきますが、県の方からありましたら、お願いします。

(池田県市町村課長)

はい。今ご指摘いただきました団体営のほ場整備につきましても、以前から強く要望を頂戴しているところでございます。農政部、また関係部局に、こちらの方からしっかり伝えてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

(岡田千曲市長)

それでは、ただいま一括議題としてご審議をお願いしましたけれども、副市長・総務担当部長会議の議題に対しまして、原案のとおり採択することに、ご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし。」との声あり)

(岡田千曲市長)

ありがとうございます。異議がないようですので、本議題を採択することに決定いたしました。

以上で、副市長・総務担当部長会議提出議題の審議を終了いたします。

各議題のうち、県へ要望するもの、10月の北信越市長会総会へ提案するものにつきましては、市長会事務局で調整し、対応は市長会の会長様へご一任いただくということで、ご了承をお願いしたいと存じます。

それでは、ここで休憩を取らせていただきますが、3時20分に再開をしたいと存じます。よろしくお願いたします。

(暫時休憩)

#### IV 県施策説明

##### (1) 新県立大学の理事長予定者・学長予定者について

(岡田千曲市長)

ただいまから会議を再開させていただきます。

皆様にちょっとここでご報告をさせていただきたいと思いますが、実は時間の関係がありまして、事務局提出議題の後に予定しておりました県の施策説明の中で、新県立大学の

理事長予定者の先生、あるいは、学長予定者の先生方がすでにお見えになっておりますので、ここでごあいさつをしていただきたいと存じますが、はじめに、「新県立大学の理事長予定者・学長予定者について」とありますけれども、本日、理事長予定者の安藤国威様と学長予定者の金田一真澄様をごあいさつにお見えになっておりますので、それぞれ皆様にごあいさつをしていただきたいと存じます。

はじめに、安藤様からお願いいたします。

(安藤新県立大学理事長予定者)

はい。ただ今、ご紹介いただきました、安藤国威でございます。また、本日はこの長野県市長総会の大変貴重な時間に、このような機会を賜りましたことを心から感謝を申し上げます。

ご案内のように、私は大学を出て以来、ずっと終始一貫、約 40 年以上にわたりまして、ソニーという民間の会社でやってきたわけですが、その期間というのは、ちょうど日本が、特に 70 年代・80 年代というのは、非常に強いものづくりの力を背景にジャパン・アズ・ナンバーワンといわれた、日本の企業も、それから日本の全体も大いに成長した期間とまさに重なっているわけでございます。

ただ、21 世紀に入りまして、突然やはり、新興国、あるいは先進国も、新しいインターネットの時代にどんどん変化をしてくまして、そのような中で、やはり日本の立場、日本の存在感というものが急速に弱くなっていると私の実感するところでございました。

そのような中で、もう一度日本を、日本の存在感、あるいは輝きを取り戻すために、やはり詰まるところ、結局は人材だろうと。いかにしてグローバル化の進展する社会の中で、新しいことにチャレンジをし、強いリーダーシップを持って、日本の企業、あるいは地域における存在感をどんどん増していくような人材をいかにして作るかということ、私はずっと考えていたのですけれども、たまたまそのようなときに阿部知事様から、新しく長野に県立大学をつくると。その目的とするところは、グローバルな視点を持った、イノベーションを創出できるような、そのような積極果敢な人材を育てていこうということと、やはり地域のリーダーとして、地域をずっと引っ張っていけるような人材を輩出したいというような理念を聞かされまして、私自身も大いに共鳴するところでございました。ということで、このたび理事長をお引き受けさせてもらうことにしたわけでございます。

ただ、大学を一つつくったからといって、それですべてが変わるわけではなくて、むしろこの県立大学というものは、今まで以上に新しい環境の中で、産学官といいますか、それに加えて、やはり地域との共生ということを非常に重視しておりまして、地域における非常に優れた企業、そしてまた将来に対する発展を考えながら、そのためのリーダーをつくっていこうということで、私どもはいろいろ準備をしております。ただ、基本的な理念というものは明確になっているわけでございますけれども、これから開校まで約 3 年以上の時間がございます。その間、特に地域の代表の皆様方である市長の皆様や、産業を代表



する方々とともに、いろいろなご意見を聞きながら、ご相談をさせていただきながら、新しい本当に時代に沿った、これからの時代を引っ張っていくような大学をつくっていききたいというように思っております。そして、いつの日か、長野県民の方々が本当に誇りうる存在になる大学を目指しておりますので、皆様方のご協力、よろしく願いいたします。

ありがとうございました。

(岡田千曲市長)

安藤様、ありがとうございました。

続きまして、学長予定者であります金田一様、よろしく願いいたします。

(金田一新県立大学学長予定者)

はい。今日は長野県市長会総会にお招きいただきまして、誠にありがとうございます。このたび、阿部知事より長野県立大学学長の大役を仰せつかりました、金田一真澄と申します。どうか、よろしく願いいたします。

今、お話しされました安藤先生は、今もう世界で活躍される国際人ですけれども、その理事長と一緒に、ぜひ素晴らしい大学をつくりたいということで、任命されたと理解しております。

長野県というところは教育県としてつとに有名でございますけれども、その長野県の県民の皆様の厳しい注文に対して堪えられるような、21世紀を代表するといえますか、新しい時代にふさわしい大学をつくっていききたいというように思います。それと同時に、長野県の健康、文化、教育、研究、そして学問、そのようなものの知の拠点となるような大学づくりをしていきたいというように思っております。

私は慶應大学を今年の3月で退職いたしました。それで、慶應にいるときには、主に1、2年生の教養教育の指導をしてまいりました。日吉キャンパスは9,000人ほどの1、2年生がいて、7学部ございます。その一応責任者として4年間やってきまして、教育の改革を私なりに考えてやってまいりました。阿部知事に仰せつかったときに、そのような経験がひょっとしたら生かせるかもしれないと思ひまして、お引き受けした次第でございます。

また、特に山が私は大好きで、白馬岳に、50年前ですけれども、父と一緒に登りまして、それで、今、八ヶ岳にちょっと海拔1,100mのところ、もう50年近く前から夏に住んでいるような状況でして、長野県といいましたらあこがれの地でございます、そのようなところから話がきまして、二つ返事で引き受けたということでございます。

今度の新大学は、4年後、平成30年の4月にスタートということで、あと3年半ほどございます。実はこの3年半、ここがすごく大事な時期になるかと思ひます。私も全力を尽くしますし、安藤先生にも頑張ってくださいですので、なかなか私たちだけでうまく行かない部分もございます。ぜひ、ここにいらっしゃる皆様方のご協力・ご支援をいただきながら、また、大学の学長というような方々、教育関係の方々、そのような方々の温

かいご支援をいただきながら、ぜひ進めていきたいというように思っております。

具体的な検討はこれからということになるかと思えますけれども、そのような皆様方の温かい支援をいただきながら、それから、ぜひ、皆さんと会話をしていながら、対話をしていながら、この話を進めていきたいと思っております。どうか、東京から何かひょっと来たような感じで大変申し訳ないという感じはあるのですが、ただ、今日、先ほど県議会の方にもあいさつに行きましたところ、やはり長野の方々は大変この大学に注目して期待しているということを非常に強く痛感した次第でございます。大変責任重い大役、名誉ある大役だと思っております。ぜひ、全力で尽くしたいというように考えております。そして、県民の誇りとなるような大学をつくる、それを、ぜひ、目指したいというように考えておりますので、どうかよろしく願いいたします。

(岡田千曲市長)

ありがとうございました。

ここで、せっかくの機会でありますので、市長さん方から両先生にご要望等がありましたら、お話をさせていただければと存じます。

はい。特にございませんでしょうか。特にないようでありますので、先生方はこれからまた公務がありまして、この場で退席をさせていただきますが、どうぞよろしく願いいたします。安藤先生、そして金田一先生には、長野県らしい県立大学となるべく、その手腕を振るっていただきますよう、ご期待を申し上げたいと存じます。本日はお忙しい中、ありがとうございました。

### Ⅲ 事務局提出議題

#### 1 協議事項

##### (1) 平成 25 年度長野県市長会決算認定について

(岡田千曲市長)

それでは、ここからは市長会事務局の提出議題に入ります。

はじめに、協議事項「(1) 平成 25 年度長野県市長会決算認定について」、事務局長から説明を願います。

(市川事務局長)

それでは、お願いいたします。

最初に、予算の執行と密接な関係がありますので、平成 25 年度会務報告書によりまして事業報告させていただいた上で、引き続き決算についてご説明申し上げたいと思います。資料の 2 の 1、会務報告書をご覧いただきたいと思います。この報告書は、総会並びに定例会の際にそのつどご報告させていただきましたものを、例年どおり 1 冊にまとめたものでございます。

おめくりいただく中において、1ページは市長会役員名簿、2ページは市長就任等の状況、3ページの上は退任市長さんの欄でございますが、鷺澤前長野市長さんお一人、4ページは全国市長会等の役員就任状況、5ページからは関係団体の役員等の推薦または委嘱で、10ページまでとなっております。

会議につきましては、12ページ以下となりますが、まず総会は2回、18ページ以下で定例会を3回、20ページ以下で役員会を、総会、あるいは定例会に先立ちまして3回、22ページの部会は、4部会を記載のとおり開催したところでございます。

また、24ページの北信越市長会では、第163回総会が松本市で開催されました。25、26ページは、全国市長会関係となっております。27ページからが、副市長・総務担当部長会議でございますが、2回開催しまして、合計で54件の議題の審議を行ったところでございます。

30ページでございます。中ほどの8でございますが、監査でございます。7月26日に実施していただきました。31ページの県と市町村との協議は2回開催され、それぞれのテーマは記載のとおりでございます。その下の知事との懇談会は、11月22日に4テーマにつき意見交換がされたところでございます。

おめくりいただいた32ページ、初めてのスタイルとして、県内地方6団体合同での長野県国会議員との懇談会が、5月21日に開催されました。33ページから35ページは会長等が出席した主な会議でございます。37ページから41ページには、要請・要望を行ったものでございます。42ページの慶弔等でございますが、43ページの方の一番上になりますが、3月26日には近藤前千曲市長さんがご逝去されたところでございます。同じページ中ほど、各市・各団体への助成金では地域活性化センターの会費の他、各種スポーツ大会に助成を行ったところでございます。

最後に45ページになりますが、市町村災害時応援協定に基づく新事業の関係でございますけれども、衛星携帯電話につきましては2機種45台、先遣隊装備品につきましては延べ652品目の装備品を記載の経費を使いまして、実施したところでございます。

続きまして、資料の2、平成25年度、歳入歳出決算書をお願いいたします。

表紙をおめくりいただきました1ページでございますが、歳入決算額は、1億1,072万0,108円、歳出決算額は1億0,437万8,176円、差引金額が634万1,932円となりまして、全額次年度への繰越となっております。

2ページ、歳入内訳でございますけれども、昨年度は8月と2月の2度、補正予算をお認めいただいております。最初に1款、各市負担金としまして2,058万6,200円。関係団体負担金としまして5,693万3,785円でございますが、内訳をお話ししますので、5ページをお開きください。

5ページの一番左の表が、各市負担金の内訳でございます。総額は平成9年度からの据え置きとなっておりますが、均等割3分の1、人口割3分の2で算出しておりますので、市によっては年度によって多少の増減がございます。

真ん中の表が関係団体からの負担金収入の内訳でございます。市長会職員にかかる人件費及び事務室等の共益分担金等につきまして、県民交通災害共済組合から 30%、市町村振興協会から 35%を負担していただいておりますほか、市町村振興協会からは、運営費助成金として 500 万円、衛星携帯電話及び先遣隊装備品の配備につきまして、記載の額のご負担をいただいたところでございます。

2 ページにお戻りいただきます。2 款の受託収入は軽自動車税関係でございまして、右の付記にございますように、申告書取扱委託料、電子データ化業務委託料等で、2,660 万 1,755 円でございます。3 款、交付金は、北信越市長会及び全国市長会からの交付金で 125 万 7,479 円となっております。4 款、繰越金、5 款、雑収入は、記載のような内容でございまして、以上合わせまして、歳入合計額が予算現額より 347 万 0,108 円多い 1 億 1,072 万 0,108 円でございます。

次に 3 ページをお願いします。歳出の内訳でございます。

1 款、会議費は総会や定例会等に要した経費で、202 万 4,334 円、2 款、事務局費は 8,275 万 0,858 円で、1 項の給料から 3 款 3 項の共済費につきましては、職員の人件費にかかる経費でございますが、昨年度の地方公務員の給与削減によりまして、市長会職員も長野市の給与規程を準用していることから、長野市に準じ、削減を実施いたしましたので、ご覧のような不用額が生じているところでございます。

5 項の交際費でございまして、市長会慶弔お見舞い等の基準によりまして、勇退されました鷺沢前長野市長さんに餞別、3 月にご逝去されました近藤前千曲市長さんへお香典等を支出してございます。6 項の需用費は、先遣隊装備品購入費、833 万 6,664 円が主なものでございまして、支出済額は 988 万 8,321 円でございます。8 項の委託料は軽自動車税申告書取扱委託料等でございまして、2,497 万 1,165 円となっております。

差引額欄に「弾力条項適用」とあります。これは予算編成時にお認めいただいております取扱件数の増に伴いまして、歳入の受託収入が予算額より増加した場合は、その範囲内で支出の増ができるというものでございます。

4 ページの 10 項の備品購入費、これは先ほど申し上げた衛星携帯電話 45 台分の購入費、1,026 万 6,375 円でございます。

次に、4 款、負担金、補助及び交付金は 1,549 万 3,592 円とございますが、もう一度 5 ページをお願いいたします。5 ページの一番右の表になりますが、内訳としまして、地域活性化センターの会費や、松本市で開催された北信越市長会開催市交付金等、記載のとおりとなっております。なお、下から 3 番目の派遣職員給与費負担金は、事務局次長に派遣されています職員の人件費にかかわるところの負担金でございます。

4 ページにお戻りいただきます。4 ページの 6 款、繰出金は職員退職積立金特別会計の繰出金 300 万円でございます。以上で歳出合計が、1 億 0,437 万 8,176 円となります。

次いで、6 ページの財産に関する調書でございますが、記載の 10 団体にかかる出資金等に変更はございません。

次に7ページ、職員退職積立金特別会計歳入歳出決算につきまして、ご説明申し上げます。

歳入決算額は2,243万9,596円。歳出決算額はゼロで、差引額は2,243万9,596円となりまして、全額次年度への繰越金となります。

1枚おめくりいただきまして、8ページの上段が歳入でございますが、1款、繰入金は一般会計からの繰入金300万円、2款、繰越金が1,943万2,366円と、3款の雑収入を合わせた歳入総額が2,243万9,596円となります。このうち、2款、繰越金の予算現額との差は、差引額、△338万7,634円となっております。特別会計を含みます平成25年度の市長会歳入歳出予算は、25年の2月4日に成立しておりますが、その後、退職者が発生したことから、3月27日に24年度の予算におきまして、338万9,000円の専決処分を行いました。従いまして、この専決処分額は25年度当初予算の繰越金に反映されておられませんので、このような差が生じているものでございます。なお、専決処分につきましては、直近の4月19日の総会にご報告させていただいているものでございます。

また、下段の歳出額ですが、支出はございません。

9ページをお願いします。積立金調書でございますが、年度中の増減額は、利子と一般会計の繰入金の合計300万7,230円の増でございます。これを備考欄にありますように、三つの金融機関に預け入れて、運用をしているところでございます。

続きまして、財政調整積立金特別会計歳入歳出決算について、ご説明を申し上げます。資料は10ページでございます。

歳入決算額1,630万2,780円、歳出決算額ゼロとなりまして、差引額が1,630万2,780円で、全額次年度への繰り越しとなります。

11ページ上段の歳入関係でございますが、2款、繰越金は、前年度繰越金1,628万6,291円、3款、雑収入を加えました歳入総額は1,630万2,780円となります。下段の歳出関係は、支出はございません。

12ページの積立金調書をお願いいたします。年度中の増減高は利子の1万6,489円の増で、年度末現在残高は1,630万2,780円でございます。これを、備考欄にありますように、二つの金融機関に預け入れ、運用をしているところでございます。

以上、平成25年度の歳入歳出決算につきましてご説明申し上げましたが、最初の一般会計におきまして、次年度繰越金が634万円余と申し上げたところでございます。これにつきましては、事務事業の見直しによる経費の削減効果や、長野県市町村振興協会からの運営費補助の増額等によるものと考えているところでございますが、またそれに加えまして、昨年度は北信越市長会開催市交付金という臨時的な経費の支出があったにもかかわらず、600万円を超える額を繰り越したということになっておりまして、各市からの負担金については見直すべきではないかという考えを、私どもは持っております。

例年、11月定例会におきまして、翌年度の各市負担金につきましてはご協議いただいて

おりますので、正副会長さんともご相談する中において、27年度につきましては、当面の措置として10%程度減額する方向で検討させていただいております。具体的な額につきましては、11月定例会でご協議いただきたいと思いますと考えております。

説明は以上です。

(岡田千曲市長)

はい、ありがとうございます。

続いて、すでに監査が終わっておりますので、監事の足立飯山市長さんから、監査報告をお願いいたします。

(足立飯山市長)

はい。それでは、監査報告をさせていただきます。

去る7月29日に、市長会事務局におきまして、牛越大町市長さんと決算監査を実施しました。平成25年度長野県市長会一般会計、職員退職積立金特別会計、及び財政調整積立金特別会計の会計・経理の状況につきまして、関係諸帳簿、証拠書類等を監査したところ、適切に処理されておりましたことを、ここにご報告いたします。

以上でございます。

(岡田千曲市長)

ありがとうございます。ただいまの説明及び報告について、ご質問、ご意見等がございましたらお願いいたします。

特にないようでありますので、「平成25年度長野県市長会決算認定について」は、承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし。」との声あり)

(岡田千曲市長)

ご異議ないようですので、「平成25年度長野県市長会決算認定について」は承認することといたしました。

## (2) 第165回北信越市長会総会について

(岡田千曲市長)

次に、「(2) 第165回北信越市長会総会について」、事務局長の説明を願います。

(市川事務局長)

資料の3をお願いいたします。

本年秋の、第 165 回北信越市長会総会は、10 月 16 日木曜日、17 日金曜日の 2 日間の日程で、新潟県新発田市月岡温泉の華鳳を会場に開催されます。総会は 16 日の 13 時からとなっております。

2 ページをご覧ください。14 時から分科会となりますが、資料 3 の 1 をご覧いただきたいと思いますが、こちらの方に分科会所属の案をつけてございます。これまでの各市長さんの所属を参考にした上で、今回はこのような記載のとりの所属案とさせていただきます。議題の関係から、他の分科会を希望される市長さんがもしおられましたら、恐れ入りますが、8 月 29 日の金曜日までに、事務局までご連絡いただければと思っております。

資料 3 の 2 ページにお戻りいただきまして、分科会終了後の 15 時から視察をしていただき、18 時 30 分から意見交換となります。宿泊は、市長さんと随行職員の皆さんは華鳳、運転職員の方は泉慶となっております。

3 ページの 2 日目でございますが、8 時 45 分から第 71 回北陸新幹線関係都市連絡協議会が開催されます。関係する市長さん方のご出席をお願いいたします。最後に、総会が 9 時 30 分から再開されまして、11 時 30 分閉会の予定となっております。

この新発田市の次の総会、来年春の総会は石川県の白山市で開催される予定となっております。

説明は以上です。

(岡田千曲市長)

ありがとうございました。ただいま説明が終わりましたが、ご質問、ご意見がありましたら、よろしくお願いたします。

特にないようでありますので、「第 165 回北信越市長会総会について」は、承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし。」との声あり)

(岡田千曲市長)

ありがとうございます。議題については承認がされました。

## 2 報告事項

### (1) 今後の会議日程等について

(岡田千曲市長)

次に、2 番目の報告事項に移ります。

はじめに、「(1) 今後の会議日程等について」、事務局長に説明を求めます。

(市川事務局長)

資料の4をお願いします。

今後の会議日程等でございますが、平成27年度の前半まで判明しております予定を整理させていただきました。あらかじめのご予定をお願いしたいと思います。そして、今年の11月21日金曜日に予定している、知事との懇談会に係る議題でございますが、各部会から1議題としまして、10月22日から開催します各部会でご決定をお願いいたします。説明は以上です。

(岡田千曲市長)

はい、ありがとうございます。

ただいま説明が終わりましたが、ご意見、ご質問ありましたら、お願いいたします。

特にないようでありますので、事務局長説明のとおり、了承をお願いいたします。

## (2) 公益財団法人長野県農業開発公社農地中間管理事業評価委員会委員の就任依頼について

(岡田千曲市長)

次に「(2) 公益財団法人長野県農業開発公社農地中間管理事業評価委員会委員の就任依頼について」、事務局長の説明をお願いいたします。

(市川事務局長)

資料の5をお願いいたします。

この件につきましては、先ほどの会務報告の中において後ほど申し上げますが、このたびの依頼のありました農地中間管理事業評価委員会委員でございますが、この委員は、公益財団法人長野県農業開発公社の評議員から選出されることになっておりまして、市長会から、当公社の評議員に就任されております、経済部会長の牧野飯田市長さんをご推薦申し上げます。

説明は以上です。

(岡田千曲市長)

ありがとうございます。

ただいま説明が終わりましたが、ご質問、ご意見ありましたら、お出しをいただきたいと思います。

(「なし。」との声あり)

(岡田千曲市長)

はい。特にありませんので、事務局長説明のとおり、ご了承をお願いいたします。



### (3) 長野県高等学校将来像検討委員会委員の推薦について

(岡田千曲市長)

次に「(3) 長野県高等学校将来像検討委員会委員の推薦について」、事務局長より説明を願います。

(市川事務局長)

続きまして、資料の6をお願いします。

長野県高等学校将来像検討委員会委員の推薦でございますが、この検討委員会は、第2期高等学校再編に向けた、望ましい高等学校教育のあり方について検討するということを目的としておりまして、本年10月に設置される予定となっております。市長会からの委員の選任につきましては、菅谷会長さんにも相談する中で、総務文教部会から今井岡谷市長さんをお願いすることといたしました。任期は平成28年3月までの予定でございます。説明は以上です。

(岡田千曲市長)

ありがとうございました。

ただいま説明がありましたが、皆さんの中から、ご質問、ご意見がありましたら、お願いいたします。松本市長さん、どうぞ。

(菅谷会長 (松本市長))

この件につきましてですが、ちょうど先ほど安藤理事長予定者さん、それから金田一学長予定者さんが、ごあいさつされ、大変高いご意志の下でそれぞれ就任される予定なのですけれども、今回、今ここに長野県高等学校将来像検討委員会ということで岡谷市長さんをお願いするわけですが、これは1ページめくりますと、やはりこの一番の問題というのは、そもそも論で「少子化」とここに書いてあるのです。そして、これもご承知のとおり、人口減少で、特に長野県の場合にはこれから大幅に減少していくわけです。

そのようなときに、果たして県立大学でもって、将来的に、やはりこれだけ人口減少して受験者が減っていくという問題もあるものですから、できれば委員の構成の中に知事部局の方からもどなたか入ってもらって、このような現状をやはりしっかり知ってもらわなければいけないと。知事部局と教育委員会とが関連性がないようにとられてしまうわけですね。

要するに、やはりこのような状況を将来見越したときに、数十億をかけて、果たして大学をつくって、どうなのかということ。そしていつも、池田課長さんがいらっしゃいますけれども、われわれがいろいろ要望しますと、財政的にいろいろ問題があるからご理解願いたいというけれども、では、このような問題をもう少し考えてもらって、こちらが本当

に、このような大学をつくっていいのかということまで考えていかないと。いつも聞くと、県の財政が厳しいからご理解願いたいと言うけれども、このような問題は徹底的にやってもらわなければ、明らかにこれだけ大幅に人口が減少するというのは、そもそも論なのですけれども、決して僕は反対するわけではないのですけれども、このような客観的事実があれば、この中には知事部局にも入ってもらって、どうなのかということも必要ではないかと思っています。もし、池田課長さん、ご意見があればどうぞお願いします。

(岡田千曲市長)

それでは、県からよろしくお願いします。

(池田県市町村課長)

そうですね。今、松本市長さんからお話でございますが、ちょうど教育委員会から教育次長がまいっていますので、こちらでお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

(青木県教育次長)

お疲れさまでございます。今、松本市長さんからのご指摘をいただいたわけですが、この将来像検討委員会は、あくまでも外部の有識者の方々のご意見をお聞きする会議でございます。ただ、市長さんのご指摘がございましたように、教育委員会のみでこれを考えていくということではなくて、やはり庁内で知事部局とも十分な連携といいますか、共通の認識の下に取り組んでいくことが当然必要であろうかと考えてございますので、重要なご指摘をいただいたと思ってございます。よろしくお願いいいたします。

(山田諏訪市長)

いいですか。

(岡田千曲市長)

はい、どうぞ。

(山田諏訪市長)

はい。岡谷の高校統合の時でしたけれども、データは知事部局から出るので。それを持ってきて教育委員会が言うものですから、意見が全然かみ合わない。これは何回言ってもだめなのです。

諏訪も人口がどんどん減ってくる、子どもたちも減ってくる。それで、編入してくるのはどのようになっているか。これは分かりませんと言う。そのようなばかなことはないではないですか。現に今減っているかという、そんなに減っていないのです。これから将来的に減るかという、それほど大きな減りはない。これが数十年にわたってあることで

すけれども、それを言うと、教育委員会の方は分からない。だから、データの的に持っています知事部局も入ってもらって、これはちょうどいいではないですか。やろうよと言っているのですから。これから説明すると。全く同じことということになります。

ぜひ、これは誰でもいいですから入っていただいて、わかる者を入れていただく。市長会では岡谷市長もがんばりますので、よろしく願いいたします。

(岡田千曲市長)

青木次長さん、いいですか。

(青木県教育次長)

重要なお指摘をいただきましたので、また十分な配慮をしてみたいというように考えております。

(岡田千曲市長)

松本市長さん、よろしいでしょうか。

(菅谷会長 (松本市長))

是非、客観的にお願いしたいと思います。

(岡田千曲市長)

ありがとうございます。ということで、県にはまた、よろしくお願いしたいと存じます。

それでは、ただいまの推薦につきまして、事務局長説明のとおり、ご了承をお願いしたいと存じます。

### 3 その他

(岡田千曲市長)

次に、「3、その他について」、一括して事務局長に説明を求めます。よろしく願いします。

(市川事務局長)

それでは、2点につきましてご説明申し上げます。最初に資料の7をお願いします。

先月の7月22日に、長野県保育園連盟、飯島会長以下が市長会事務局にお越しになり、「子ども・子育て支援新制度」の施行に向けた「市町村子ども・子育て支援事業計画」の策定並びに各種基準等に係る条例の制定について、の要望書の提出がございました。この件につきましては、同日付けで、市長会会長名をもちまして各市へ送付させていただきましたところですが、対応につきましては各市でお願いしたいと思います。

最後に、資料の8でございます。自治労長野県本部の高橋中央執行委員長、他1名から、昨日、「2014 人事院勧告・報告にかかわる要請書」による申し入れがございました。昨日のうちに、各市の方には送付させていただきましたが、内容は勧告どおりの給与改定の実施等でございます。各市の実情も異なることから、対応につきましては、この件につきましても各市でお願いしたいと思っております。

私からは以上です。

(岡田千曲市長)

ありがとうございました。ただいま説明がありましたが、ご質問、ご意見等がございましたら、お願いいたします。特にないようでありますので、事務局長説明のとおり、ご了承をお願いしたいと存じます。

以上で事務局提出議題は終了いたします。

#### IV 県施策説明

##### (2)「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正に伴う総合教育会議の設置等について

(岡田千曲市長)

続きまして、県の施策説明に移ります。

1番は終わりましたので、2番目になりますが、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正に伴う総合教育会議の設置等について、長野県教育委員会事務局教育次長、青木弘様から説明をお願いいたします。

(青木県教育次長)

今、ご紹介いただきました、教育次長の青木でございます。貴重な時間をありがとうございます。時間も来ているようでございますので、手短にご説明させていただきたいと思っております。

お手元には、資料をお配りさせていただいておりますが、資料の10ということで、今お話のございました、A3版のリーフレットでご説明させていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。着座にて、失礼させていただきます。

今日説明させていただきますのは、いわゆる地教行法が改正されまして、来年4月1日から施行されることに伴いまして、教育委員会制度の改革がなされるものですから、その概要についてのご説明でございます。なお、今日説明させていただきます内容につきましては、すでに、市町村教育委員会の方へは、7月から8月にかけて開催いたしました懇談会でご説明をさせていただいたところでございますし、すでに首長さん方にも10広域の会議で、できるだけということでご説明をすでに進めさせていただいているところでございまして、重複が一部ございますが、お許しいただきたいと思います。なお、今回の改正内

容は、市長の皆さんに直接関係する事項でもございますので、よろしくお願い申し上げます。

それでは、資料をご覧いただきたいと思います。まず、表紙のところをご覧いただきますと、法律名と、それから施行日が記載されております。平成27年4月1日施行でございます。中ほどに法改正の趣旨が書いてございまして、その下にポイント①から④まで、四つほど整理されております。この中身につきまして、順次ご説明をさせていただきます。

それでは、資料をおめくりいただきまして、見開きをご覧いただきたいと思います。見開き、A3版でございますが、まず左側の関係でございます。ポイント①ということでございますが、教育委員長と教育長を一本化した新「教育長」の設置ということでございます。現行制度におきましては、教育委員長と教育長のどちらが責任者なのか分かりにくいという指摘もされてきたことから、教育行政における責任の明確化という観点から、一本化されたというように承知をしております。

左側の右側の方でございますけれども、現在は非常勤の教育委員長が教育委員会議の招集権限を持ってございまして、教育委員会の代表者とされているところでございますが、今回の改正によりまして、太い矢印の下でございますが、新「教育長」とございまして、その新たな常勤の新「教育長」が、教育行政の第一義的な責任者であることが明確にされたところでございます。中身については、恐縮でございますが、ご覧いただきたいと思っております。

また、その左側でございますが、教育長の任命につきましては、上側が現行制度で、下側にこれからの制度でございます。新制度におきましては、首長自体が新たな教育長を、議会の同意を得て直接任命するということに変わります。これによりまして、首長の任命責任も明確化されたところでございます。このように、新たな制度では、教育長の権限が強くなりますことから、与野党協議の結果ということの経過もございまして、教育長の任期は3年とされてございます。

この趣旨は、首長は任期中、1回は新「教育長」の任命権を行使できるという趣旨もございまして、その下の②にございまして、そのようなことから、教育委員が会議の招集を請求できるなど、教育長へのチェック機能も一方では強化されたという内容でございます。

1点、ここで特にご留意いただきたいこととございますが、この新「教育長」の任命につきましては経過措置があります。それで、それにつきましては、最後の4ページ目をご覧いただきたいと思っております。Q&Aという形で、文科省の方で整理をされた中のQの1番でございます。

ちょっと読み上げますけれども、「来年4月1日に、教育委員長と教育長を一本化した新『教育長』が任命されるのですか」という問いになっておりますが、「施行日の27年4月1日において在任中の教育長につきましては、その教育委員としての任期が満了するまで、又は自ら退任するまで、現行制度の教育長として在職する」ということとございまして、

そのような面では、徐々に新制度に移行していくということになるわけでございます。その間は、従来どおり、教育長と非常勤の委員長が併存するという状況が出てまいります。

それから、非常勤の旧委員長につきましては、旧教育長の任期が満了した時点、または退任した時点で委員長としては失職するわけでございますが、委員として任期が残っている間は、引き続き委員としては在職することになりますので、この辺もご留意いただきたいと思っております。

なお、記載はございませんが、現在の教育長の任期にかかわらず、来年4月1日から新体制に移行したいというお考えでございます場合には、法施行日前でございまして、新教育長の任命手続きを行えることになってございます。従いまして、来年の2月ないし3月議会での同意も可能ということで、お含みをいただきたいと思います。

なお、非常に事務的な話でございますが、この新制度に伴いまして、委員定数や特別職の給与等、条例等々の改正が必要になる部分も出てまいります。これについては、よろしくお願ひしてまいりたいと考えてございます。

それから、2点目でございます。見開きの方へお戻りいただきまして、総合教育会議の関係でございます。その右側でございますが、ポイント③でございますように、すべての地方公共団体に「総合教育会議」を設置するということになっておりまして、これは必置とされてございます。そして、太い矢印の下の右側でございますけれども、この総合教育会議は、首長が招集し、原則公開の下に行われます。構成員は首長と教育委員会とされておりますが、必要に応じ、第三者からの意見を聞くことができる、とされております。具体的な協議調整事項は、その下の四角でございます①から③に掲げられているところでございます。特に、その下のポイント④にもございますように、首長は教育に関する大綱を定め、または策定するというようなことがこれから必要になってくるわけでございますが、この、あらかじめ総合教育会議において協議をすることが必要となってきたところでございます。お含みをいただければと思っております。

なお、教育行政の最終的な執行権限は、あくまで教育委員会にあることは変わりはありません。従いまして、策定された大綱につきましては、首長と教育委員会が、それぞれ持っている権限の範囲内でしっかりと執行に努めていくことはこれまでと変わらないわけでございます。

なお、この大綱を策定するか否かの問題につきましては、先ほどのQ&Aの6番にもございますけれども、ご覧いただきたいと思います。すでに各自治体におきましては、教育基本法に基づく教育振興基本計画等を定めておりますが、これを首長が総合教育会議において教育委員会と協議した結果、それを大綱として位置づけようと、このように判断された場合には改めて大綱を策定する必要はないというようにされておりますので、よろしくお願ひいたします。

なお、この総合教育会議の設置につきましては、経過措置はございませんので、来年度の立ち上げが必要となってまいります。また、この会議自体は、細かい話で恐縮でござい

ますが、地教行法に基づくものでございまして、地方自治法上の付属機関ではございませんので、会議の設置についての条例を定める必要はございませんけれども、会議の運営に関しましては総合教育会議で定めることとされておりますので、来年度のできるだけ早い時期の、第1回の総合教育会議におきまして、そのような規定の整備をお願いしていくことになろうかと思っております。

なお、この総合教育会議の担当部署につきましては、あくまでも招集は市長でございます。従いまして、原則事務局は市長部局ということになろうかと思っております。この辺につきましてお決めいただきまして、今申し上げました会議の運営方法や大綱の扱いをどうするかも含め、あらかじめの検討をお願いしてまいりたいと考えているところでございます。

説明は以上でございますけれども、なお、9月8日月曜日に、塩尻市にございます県総合教育センターにおきまして、文部科学省の担当者を講師に招きまして、詳細な説明会を開催する運びとなっております。教育委員会事務局のみならず、市長部局の方にもご連絡を申し上げてございますので、積極的なご対応をお願いできればと考えているところでございます。

説明は以上でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

(岡田千曲市長)

はい。切羽詰まっている感じがしますが、ありがとうございました。

皆さん方からご質問がありましたら、お出しいただきたいと存じますが。まだ十分、わかったと言えないのですけれども、よろしいでしょうか。

(宮澤安曇野市長)

ちょっと1点お願いします。

(岡田千曲市長)

はい、どうぞ、安曇野市長さん。

(宮澤安曇野市長)

教育委員会の人数については、現行どおりというようになるのですか。あるいは、増員というのが可能なのですか。

(伊藤県教育総務課企画幹)

はい。それは、それぞれの自治体のお考えだと思います。例えば今、実際は教育委員全体で、県の場合ですけれども、6人ですけれども、うち1人は教育長です。それを、来年度から教育長と5人の委員ということで、構成メンバーといいますか、人数自体は変わらないのですけれども、皆さんのお考えで、それを増やす、減らすということは、条例をい

じるという可能性もありますけれども、お考えいただきたいと思います。

(青木県教育委員会事務局教育次長)

教育長は、教育委員ではなくなるということをご理解いただければと考えております。

(岡田千曲市長)

よろしいでしょうか。特にないようでありますので、本件に対する質疑を終了いたします。ありがとうございました。

ここで、皆様にご承知おき願いたいと思いますが、県の眞鍋健康福祉部長さんが、8月末で退任されることになりました。眞鍋部長さんがお見えでございますので、一言ごあいさつをお願いしたいと存じます。部長さん、よろしく申し上げます。

(眞鍋県健康福祉部長)

はい。今日は貴重なお時間をいただきまして、誠にありがとうございました。今ご紹介いただきましたとおり、8月31日付で長野県を退職し、9月1日付で、まだ霞ヶ関としか言われていないのですけれども、霞ヶ関で採用というような旨の話をいただきました。本日この市長会があるということでございましたので、この場をお借りして、ごあいさつをさせていただきたいと思います。

るる申し述べることはしませんけれども、私は3年1か月長野県にいらしていただきました。その間、医療、社会保障、そして福祉、このようなことをいろいろ担当させていただきましたけれども、強く実感いたしましたのは、やはり社会保障に関しましては、長野県は先進地であるということでございます。この中で、地域医療再生や、あるいはさまざまなイベントを通じまして、ここにいらっしゃっている市長の先生方と親しくお話をさせていただくことが多かったですけれども、やはり間違いなく長野県が、これから日本の持続可能な社会保障、持続可能な地域生活をしていく上では、先進地だろうというように思っております。

これを国に帰りまして強く広めていきたいと思っておりますし、また、私も長野県を第2のふるさととして、また足繁く通わせていただきたいと思っておりますので、いろいろまたご指導も賜りたいというように思っております。3年1か月にわたりまして、本当にどうもありがとうございました。

(岡田千曲市長)

眞鍋部長さん、ありがとうございました。大変お世話になりました。新しい職場でもますますご活躍いただきますよう、ご祈念申し上げます。ありがとうございました。

### (3) 平成27年度開催市決定について



(岡田千曲市長)

次に、「(3)平成27年度開催市決定について」でございます。事務局から説明願います。

(市川事務局長)

平成27年度秋の第137回総会の開催市でございますが、これまで市政順でお願いしてきておりますので、次回は東御市さんでお願いできたらと考えております。

以上です。

(岡田千曲市長)

はい、ありがとうございます。ただいま説明のとおり、平成27年秋の第137回長野県市長会総会の開催市を東御市さんをお願いすることによろしいでしょうか。

(「異議なし。」との声あり)

(岡田千曲市長)

それでは、次期開催市は、東御市さんをお願いしたいということで、よろしくお願ひしたいと存じます。

ここで、花岡東御市長さんから、ごあいさつを頂戴できればと思います。

(花岡東御市長)

非常に小さい市で、ある物はあるけれども、ある物以外はないという市でございます。一人前になるために、今、一生懸命努力途上であります。ただ、気持ちはいっぱいありますので、皆様方のお越しを一生懸命お待ちしながら、頑張ってまいりたいというように思っていますので、お越しいただくようお願いしまして、ごあいさつに代えさせていただきます。どうぞ、よろしくお願ひします。

(岡田千曲市長)

花岡市長さん、ありがとうございます。東御市さんにはお世話になりますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

「その他」でございます。最後になりますが、この際「その他」とますけれども、何かございましたら、お出しいただきたいと存じます。

松本市長さんから、第4回平和首長会議の国内加盟都市会議開催の資料について配付いただいておりますが、松本市長さんから説明はありますか。

(菅谷会長(松本市長))

資料を読んでいただければいいです。

(岡田千曲市長)

ということで、総会資料として中に配布されておりますので、後程ご覧いただきたいと思っております。できるだけ各市のご協力をお願いしたいと存じます。

他に。はい、大町市長さん。

(牛越大町市長)

今の松本市さんの資料の後ろに、喜多郎シンフォニックワールドツアーというパンフレットを1枚入れてございます。これは、9月28日、大町市で開催されます、シンセサイザー一奏者であり、作曲家であります、喜多郎氏のシンフォニックワールドツアーのコンサートのご案内です。値段が6,500円。これは手作りでは有志が実行委員会を組織して、一昨年の、9月にも同じコンサートを実施しておりますが、今回はオーケストラとのコラボ。これは松本市のオーケストラ、松本モーツァルトオーケストラのご参画をいただいて行うものです。

喜多郎さんは、ご案内のように、シルクロードの作曲の前後、大町市の旧八坂村に長く住み、そこで作曲活動をスタートしたという経歴があります。また現在も、大町市美麻地区で、いわゆるけいこ場、コンサートホールを設けて、現在アメリカに在住なのですが、世界ツアーに出かける前に必ず大町市で最終仕上げの練習をし、そして出陣していくという、その世界的なワールドツアーの皮切りに大町市を会場として行うものでございます。ちょっと値段が高めではありますが、妙なる調べ、本当に聴きほれるほどの内容で準備しておりますので、どうぞ皆様方、お忙しい時期と思いますが、ご来場いただきますように、ご案内申し上げます。ありがとうございました。

(岡田千曲市長)

ありがとうございました。大町市で開催されます、9月28日、ぜひ、皆様方、お時間がありましたら、行っていただければありがたいと存じます。

他にございますか。小諸市長さん、どうぞ。

(柳田小諸市長)

7月5日の日に、小諸市政60周年記念式典というものを開催しまして、それぞれの市町村からいろいろなお祝いの電報をいただきまして、本当にありがとうございました。

(岡田千曲市長)

小諸市さん、おめでとうございました。

他にございますか。飯山市長さん、お願いします。

(足立飯山市長)

飯山市でございます。飯山市も、8月1日、市政60周年を迎えまして、大変大勢の皆様方に式典に出席を賜りました。大変ありがとうございました。

(岡田千曲市長)

重ね重ね、おめでとうございます。

他にはよろしいでしょうか。なければ、以上をもちまして、本日の会議事項は、すべてを終了いたしました。

県の皆さんはじめ、各市長さん方にはご協力いただきまして、無事議長の任を果たすことができました。心からお礼を申し上げ、議長としての大役を降ろさせていただきます。ありがとうございます。

(小林千曲市総務部長)

以上で、本日予定されておりました案件は、すべて終了いたしました。

ここで閉会の言葉を、千曲市副市長、山本高明から申し上げます。

(山本千曲市副市長)

本日は、直面する地方自治の諸課題につきまして、非常に熱心なご審議をいただきまして、大変お疲れ様でございました。

また、来賓の皆様には、大変忙しい中、ご臨席を賜りまして、心から御礼を申し上げます。

これをもちまして、第135回長野県市長会総会を閉会いたします。ありがとうございました。

(以上)